

堺市に おける人の動き



CONTENTS / 目次

■ はじめに	01
■ 第6回近畿圏パーソントリップ調査の概要	02
■ 堺市の人の動き	03
■ 地域の人の動き	05
■ 目的からみた人の動き	08
■ 交通手段からみた人の動き	09
■ 年齢からみた人の動き	10
■ 移動困難者の動き	15
■ 新型コロナウイルス感染症による影響	17
■ 堺市の高齢者に関する移動実態（堺市独自調査より）	18
■ 調査票	19

■ はじめに

近畿圏は、京都市・大阪市・堺市・神戸市の大都市や大津市・姫路市・奈良市・和歌山市等の中核都市が共存する多核型の都市圏です。このような特徴的な構造を持つ都市圏の活性化に資する総合都市交通体系を確立するためには、広範囲な地域間の連携が不可欠です。

このため、京阪神都市圏交通計画協議会※では、人の動きに着目したパーソントリップ調査を昭和45年（1970年）に初めて実施し、その後10年ごとに5回の調査を行い、都市交通政策等の検討に活用してきました。

令和3年（2021年）には「第6回近畿圏パーソントリップ調査」を実施し、堺市では、約3千世帯・約6千人の方からご回答（調査票の返送・インターネットによる回答）をいただきました。大変多くの方々にご協力いただき、誠にありがとうございました。

本書は、第6回近畿圏パーソントリップ調査結果から、主な項目について堺市を中心に取りまとめたものです。皆様が交通についてお考えになる際に、少しでもお役にたてれば幸いです。

※ 京阪神都市圏交通計画協議会
国土交通省、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市、堺市、神戸市、西日本高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、独立行政法人都市再生機構、関西鉄道協会、近畿バス団体協議会

第6回近畿圏パーソントリップ調査の概要

1 パーソントリップ調査

パーソントリップ調査（パーソン＝人、トリップ＝動き）とは、「いつ」「どこから」「どこまで」「どのような人が」「どのような目的で」「どのような交通手段を利用して」移動したのかについて調査し、人の1日のすべての動きをとらえるものです。

2 調査の対象

調 査 日：令和3年9月～11月

平日・休日各1日

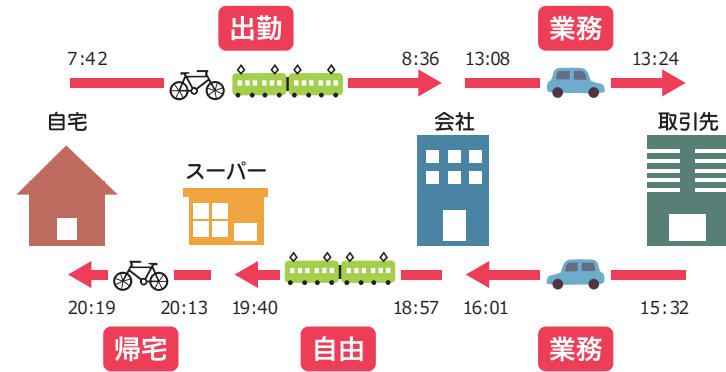
調査対象者：近畿圏全域（2府4県）にお住まいの世帯を無作為に抽出し、世帯全員（5歳以上）を対象

調 査 手 法：郵送配布、Web・郵送回収

3 第6回調査の特徴

①Web回収を中心とした調査手法の拡大
②スマートフォンを活用したアプリによる回答手法の導入など、新たな取組を実施しています。また、新型コロナウイルス感染症拡大による外出状況の変化（頻度や移動手段の変化）をとらえる補完調査をあわせて実施しました。

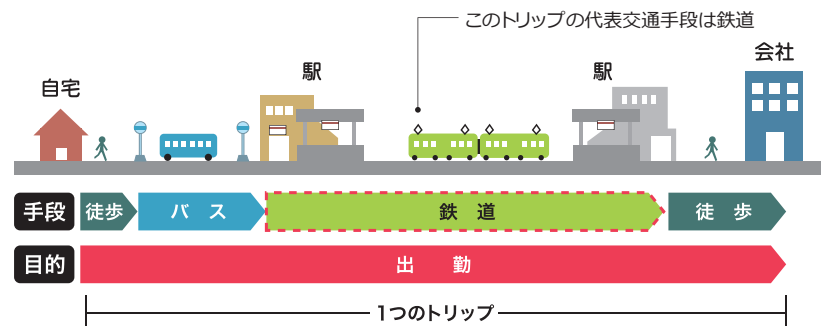
人の1日の動きの例



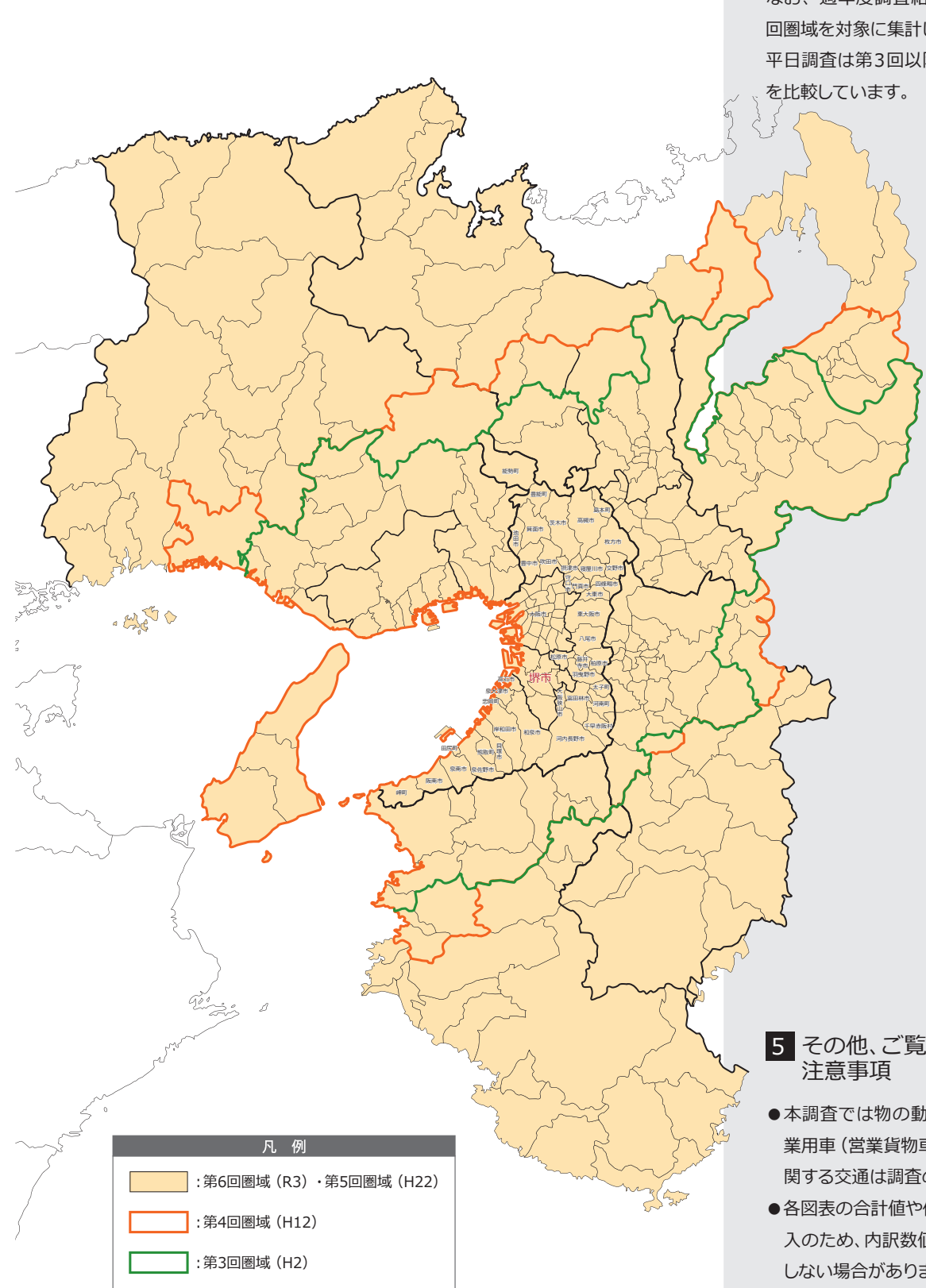
用語の説明

夜間人口	対象地域における居住人口です。
外出人口	居住人口のうちある1日に外出した人口です。
トリップ	人がある目的をもって「ある地点」から「ある地点」へ移動する単位で、移動の目的目的が変わるごとに1つのトリップと数えます。
トリップエンド	1つのトリップにおける出発地と到着地をそれぞれ「トリップエンド」といいます。
トリップの目的	出勤・登校・自由・業務・帰宅に分けられます。自由は買物、食事、レクリエーション等の生活関連のトリップ。業務は打合せ・会議、販売・配達、作業、農作業等の仕事上のトリップです。
発生集中量	ある地域内に出発地または到着地を持つ人の移動の合計で、「トリップエンド」を集計したものです。
生成量	ある地区内に住んでいる人が1日に行うトリップの総数です。
生成原単位	ある地区内に住んでいる人が1日に行う平均のトリップ数です。
外出率	ある1日に外出した人数の全人口（夜間人口）に対する割合です。
交通手段分担率	ある交通手段のトリップ数の全交通手段のトリップ数に占める割合です。
代表交通手段	鉄道、バス、自動車、二輪（自動二輪車、原付、自転車）、徒歩、その他（飛行機や船等）があり、1つのトリップの中でいくつかの交通手段を用いている場合は主な交通手段を代表交通手段としています。 鉄道→バス→自動車→二輪（自動二輪車、原付、自転車）→徒歩の順で、最も優先順位の高いものとしています。 （例：会社への出勤トリップ及び代表交通手段（この場合は鉄道））

1つのトリップ及び代表交通手段の例



調査圏域図



4 調査対象圏域

第6回近畿圏パーソントリップ調査では、近畿全域（2府4県）を調査対象圏域としています。

なお、過年度調査結果と比較するときは、第3回圏域を対象に集計しています。

平日調査は第3回以降、休日調査は第5回以降を比較しています。

5 その他、ご覧いただく上での注意事項

- 本調査では物の動きにかかわる貨物車や営業用車（営業貨物車、タクシーなど）の運行に関する交通は調査の対象外としています。
- 各図表の合計値や伸び、構成比の値は四捨五入のため、内訳数値から算出される値と一致しない場合があります。
- 構成比の図について、1%未満は非表示としています。

■ 堺市の人の動き (1/2)

① 平日の総トリップ数と1人当たりトリップ数の推移

- 堺市の平日の総トリップ数（発生集中量）については、平成2年から平成22年にかけては微減でしたが、令和3年は平成22年に比べて約16%減少しています。

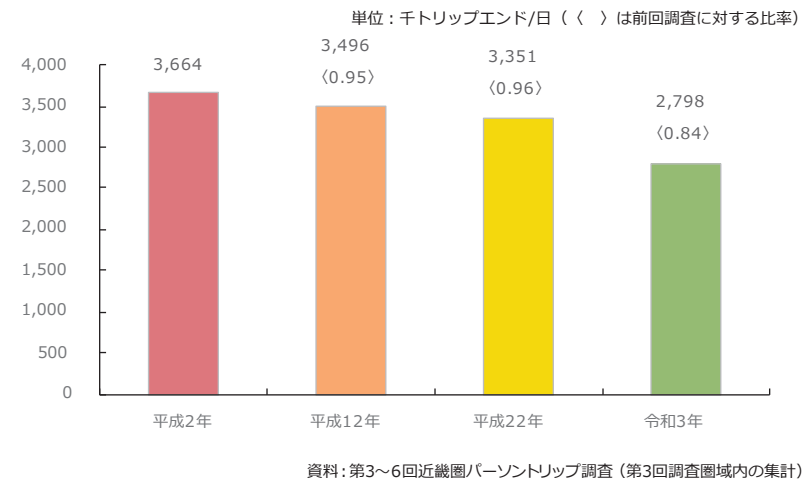
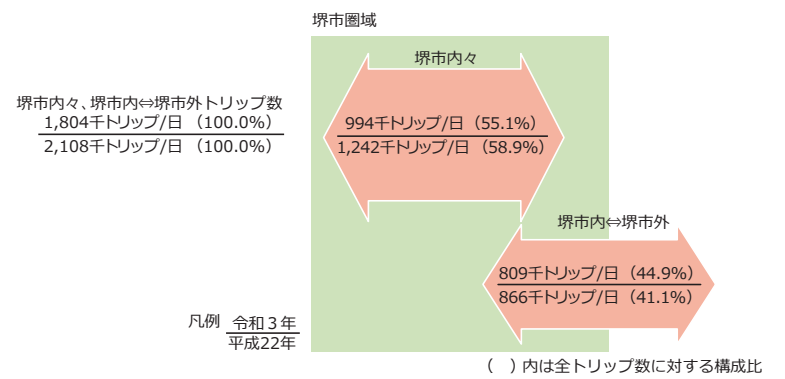


図1 平日の発生集中量の推移（平成2年～令和3年）

- 令和3年において、堺市を出発地あるいは到着地とするトリップは1,804千トリップ/日で、そのうちの約55%にあたる994千トリップ/日は出発地・到着地ともに堺市内です。



資料：第5～6回近畿圏パーソントリップ調査（第3回調査圏内の集計）

図2 平日に堺市を発着する人の動き（平成22年～令和3年）

- 令和3年において、堺市に居住する人の平日1日あたりのトリップ数（生成原単位）は1.88トリップ/人日であり、平成2年から減少傾向が続いており、令和3年は平成22年に比べて大幅に減少しています。
- また、外出率についても同様に、平成2年から減少傾向が続いており、令和3年は平成22年に比べて約7ポイント減少しています。
- これは高齢化の影響に加え、令和3年は新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛の影響も考えられ、近畿圏でも同様の傾向を示しています。

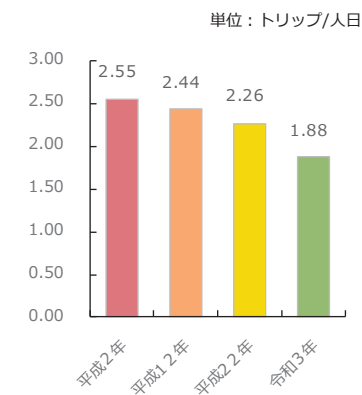


図3 平日の生成原単位の推移（平成2年～令和3年）

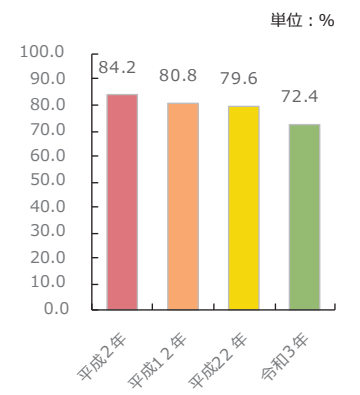


図4 平日の外出率の推移（平成2年～令和3年）

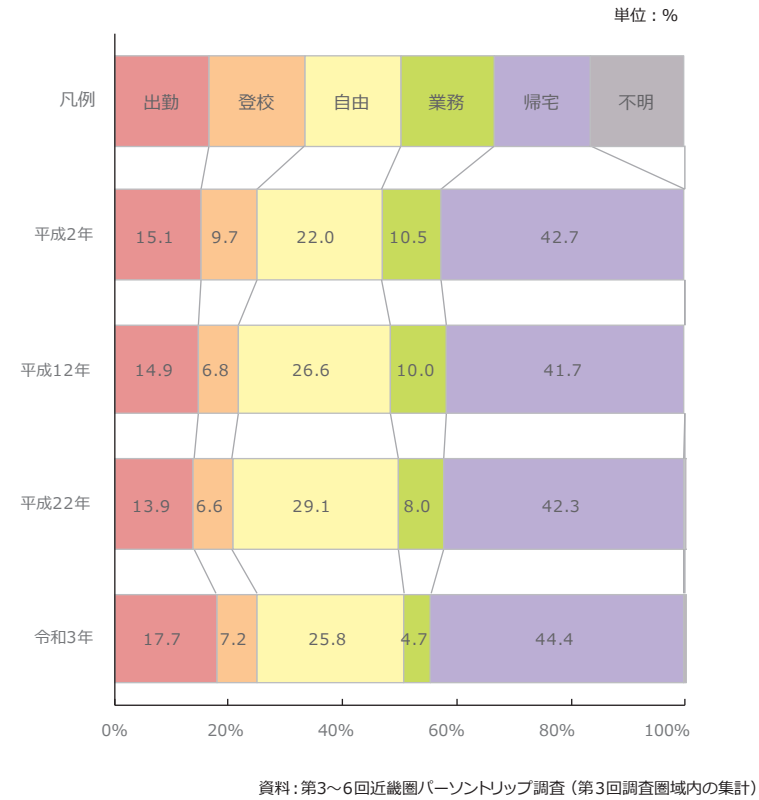


図5 平日トリップの目的構成比の推移（平成2年～令和3年）

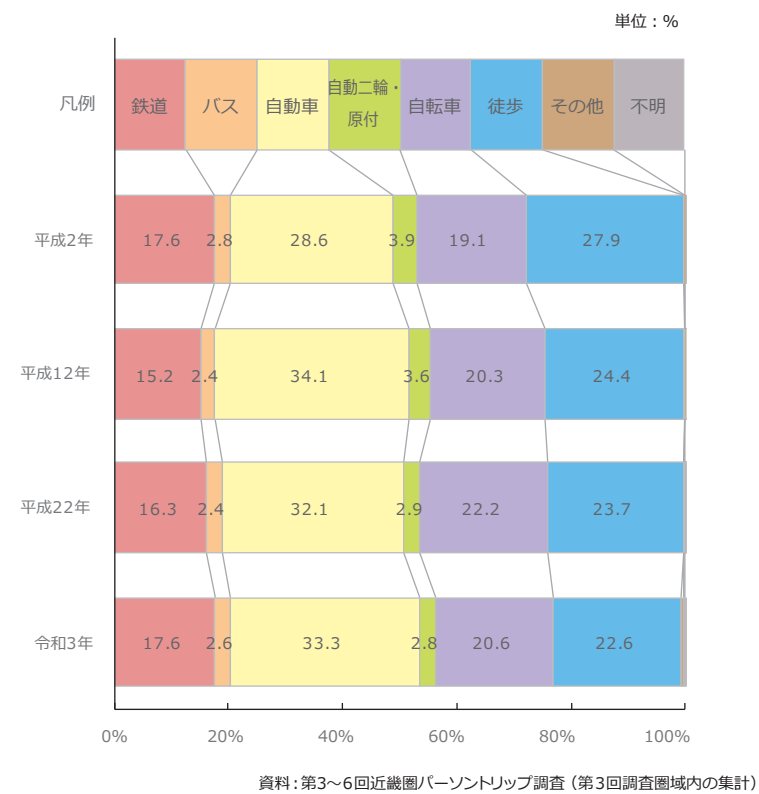


図6 平日トリップの代表交通手段構成比の推移（平成2年～令和3年）

② 平日トリップの目的構成比の推移

- 平成2年から令和3年にかけて業務目的の割合の減少傾向が続いています。
- 令和3年は、平成22年まで減少していた出勤、登校目的の割合が増加し、増加していた自由目的の割合が減少しています。

③ 平日トリップの代表交通手段構成比の推移

- 平成22年から令和3年にかけては大きな変化はみられないものの、鉄道と自動車がわずかに増加しています。
- 徒歩は、平成12年から令和3年にかけてわずかな減少傾向にあり、令和3年は平成22年から約1ポイント減少しています。

■ 堺市の人の動き (2/2)

4 休日の総トリップ数と1人当たりトリップ数の推移

- 堺市の休日の総トリップ数（発生集中量）については、令和3年は平成22年と比べて、約16%減少しています。

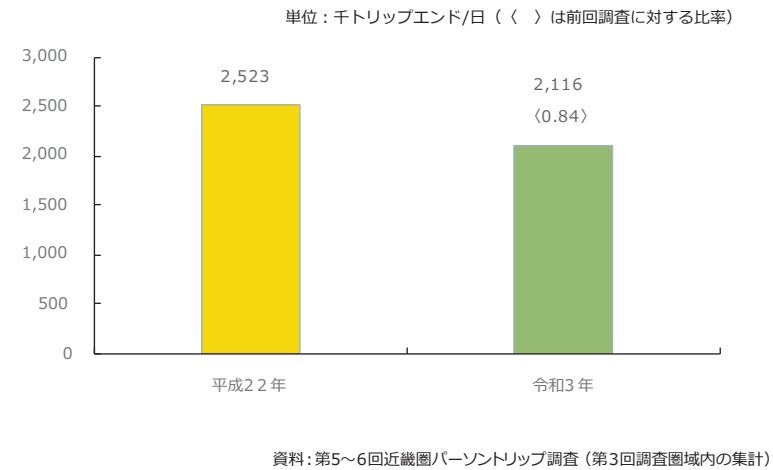
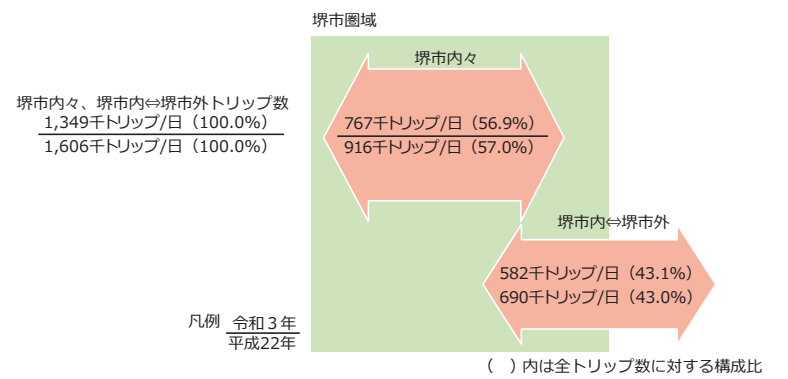


図7 休日の発生集中量の推移（平成22年～令和3年）

- 令和3年において、堺市を出発地あるいは到着地とするトリップは1,349千トリップ/日で、そのうちの約57%にあたる767千トリップ/日は出発地・到着地ともに堺市内です。



資料：第5～6回近畿圏パーソントリップ調査（第3回調査圏域内の集計）

図8 休日に堺市を発着する人の動き（平成22年～令和3年）

- 令和3年において、堺市に居住する人の休日1日あたりのトリップ数（生成原単位）は1.41トリップ/人日であり、平成22年から減少しています。
- また、外出率についても同様に、平成22年から令和3年にかけて減少しています。
- 生成原単位・外出率ともに、平日と比較して休日の方が小さく（低く）なっています。

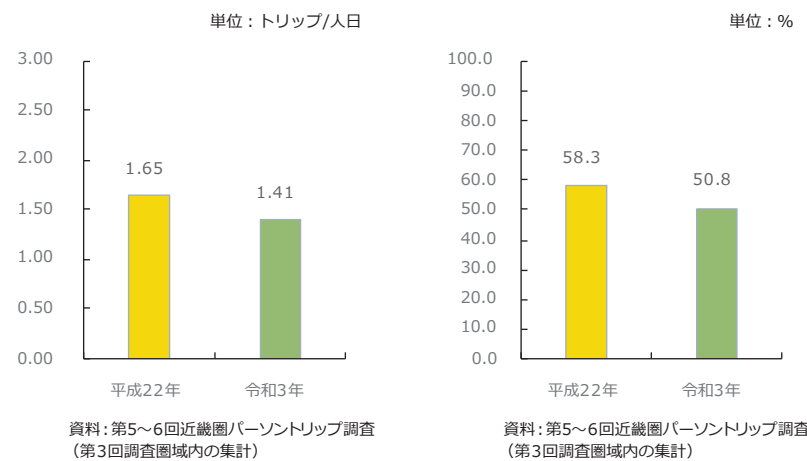


図9 休日の生成原単位の推移（平成22年～令和3年）

図10 休日の外出率の推移（平成22年～令和3年）

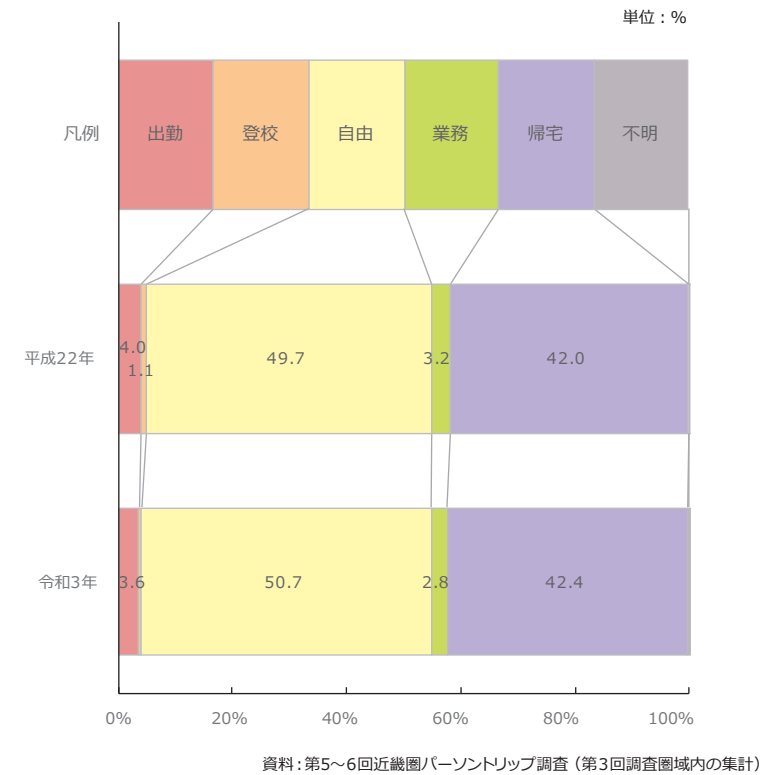


図11 休日トリップの目的構成比の推移（平成22年～令和3年）

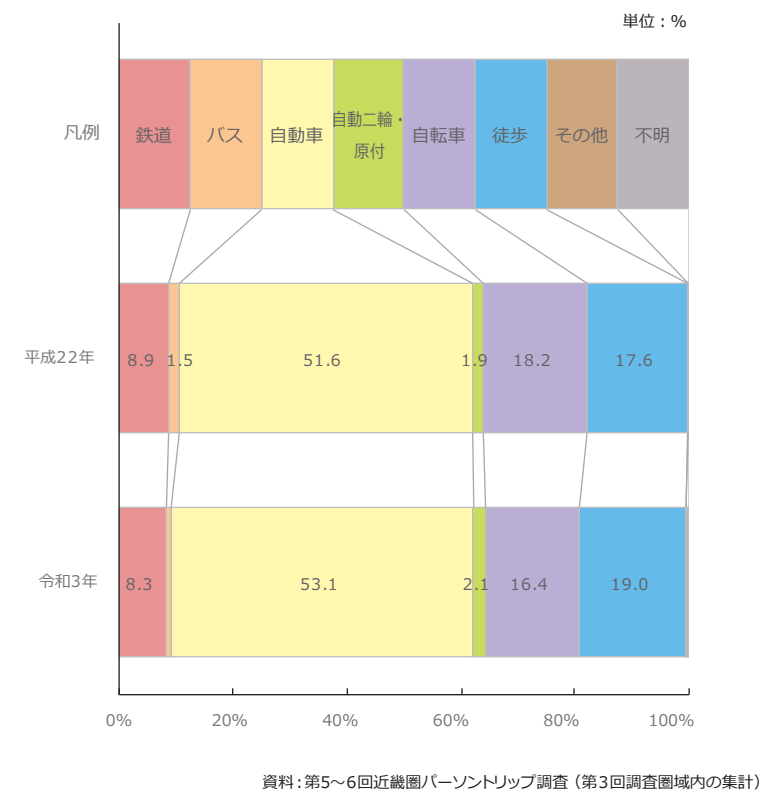


図12 休日トリップの代表交通手段構成比の推移（平成22年～令和3年）

5 休日トリップの目的構成比の推移

- 平成22年から令和3年にかけて大きな変化はみられません。
- 平日トリップの目的構成比と比較すると、休日では出勤、登校、業務目的がほとんどなく、自由目的が50%以上を占めています。

6 休日トリップの代表交通手段構成比の推移

- 平成22年から令和3年にかけて自動車、自転車、徒歩でわずかな増減はありますが、大きな変化はみられません。
- 平日トリップの代表交通手段構成比と比較すると、休日は平日に比べ、鉄道の割合は約半分に、自動車の割合は約20ポイント大きくなっています。

① 平日の地域別トリップ数

- 大阪府内の大ゾーン別に平日の発生集中量の推移をみると、平成12年から令和3年にかけて全ての地域で減少傾向にあり、令和3年は堺市以南の地域の減少割合が大きくなっています。
- 堺市は大阪府内の南河内、泉州と同様に減少の割合が大きくなっています。

※大ゾーンは図15に示す地域区分です。

大ゾーンの区分

	大ゾーン名	対象市町村名	
大阪府	北大阪	箕面市 池田市 豊中市 吹田市 摂津市 茨木市 高槻市 豊能町 能勢町 島本町	
	東部大阪	枚方市 交野市 寝屋川市 守口市 門真市 大東市 四条畷市 東大阪市 八尾市 柏原市	
	南河内	松原市 羽曳野市 藤井寺市 富田林市 大阪狭山市 河内長野市 太子町 河南町 千早赤阪村	
	泉州	和泉市 泉大津市 高石市 岸和田市 貝塚市 泉佐野市 泉南市 阪南市 忠岡町 熊取町 田尻町 岬町	
	堺市	堺市全域	
	大阪市	大阪市全域	
	京都府	山城	向日市 長岡京市 宇治市 八幡市 城陽市 京田辺市 木津川市 大山崎町 久御山町 井手町 宇治田原町 笠置町 和束町 精華町 南山城村町
		京都市	京都市全域
兵庫県		阪神臨海	尼崎市 西宮市 芦屋市
		阪神内陸	伊丹市 宝塚市 川西市 三田市 猪名川町
奈良県	神戸市	神戸市全域	
	奈良県北部	奈良市 生駒市 天理市 大和郡山市 香芝市 山添村 平群町 三郷町 斑鳩町 安堵町 上牧町 王寺町 広陵町 河合町	

- 区別に平日の発生集中量をみると、堺区が最も多く、全体の約2割を占めています。
- 次に北区、西区、南区です。

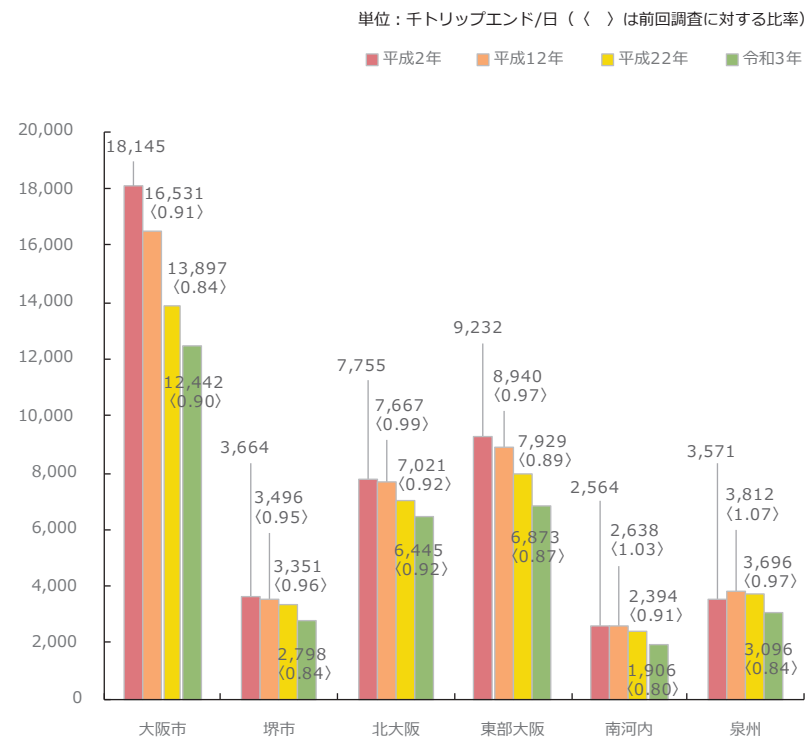


図13 平日の大ゾーン別発声集中量の推移（平成2年～令和3年）

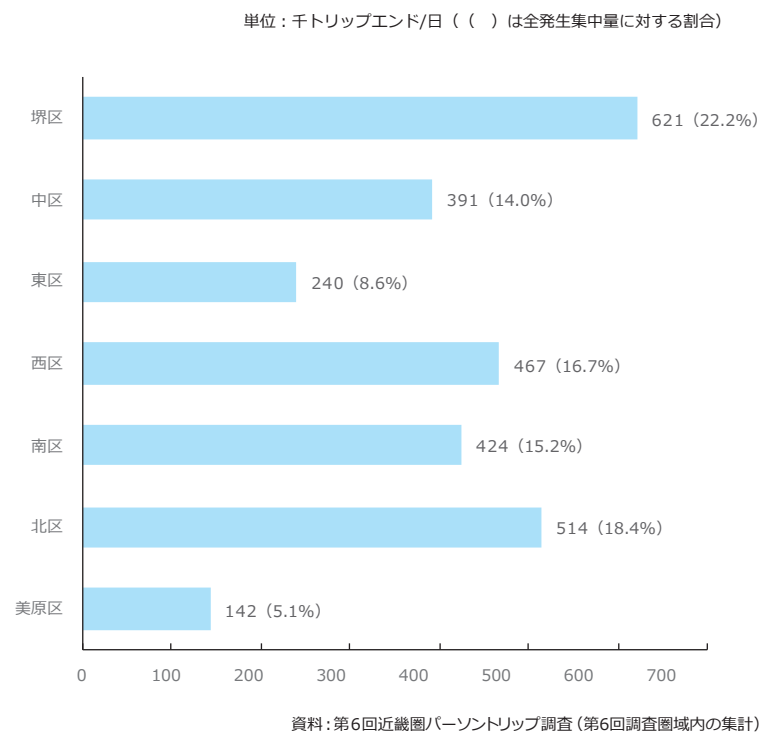


図14 平日の区別発生集中量（令和3年）

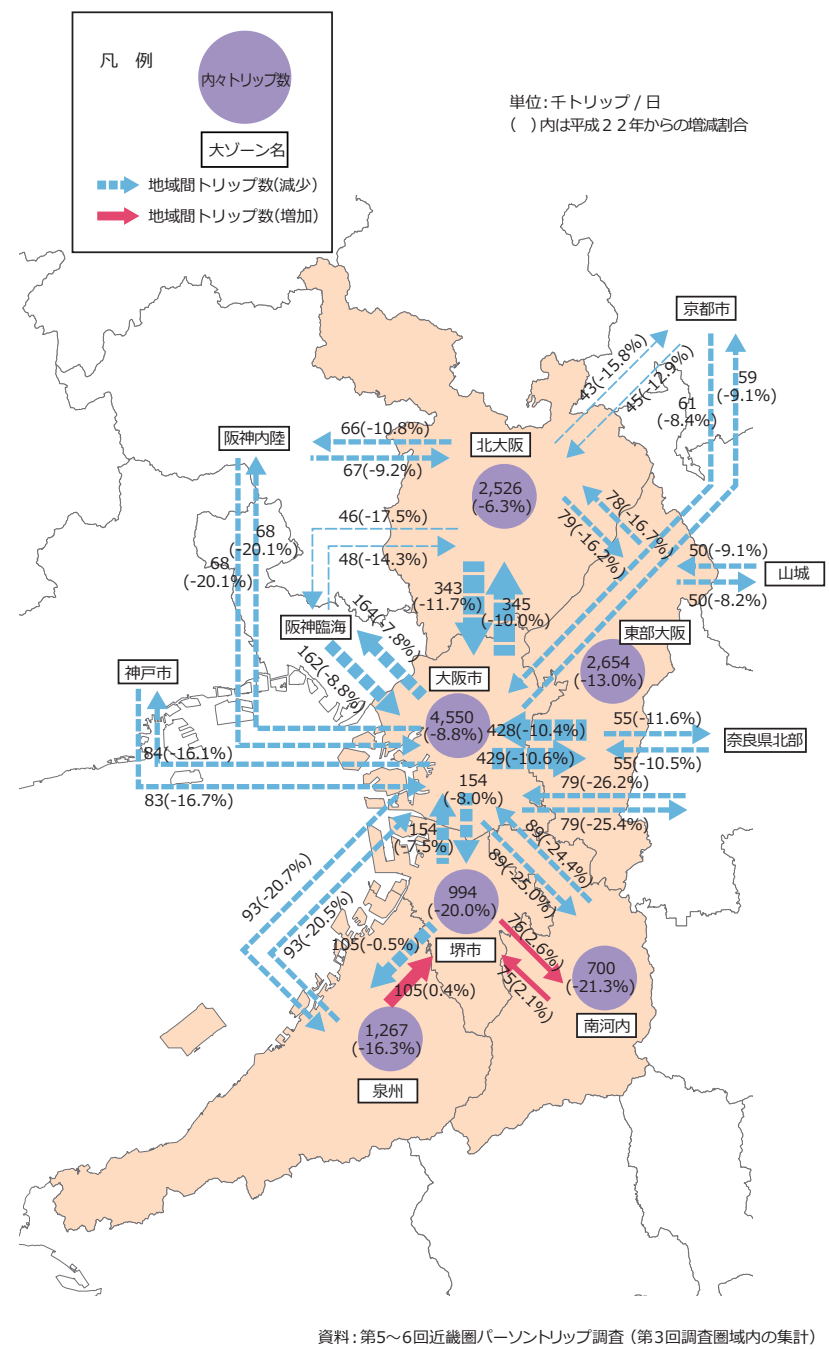


図15 平日の地域間流動量及び増減割合（平成22年～令和3年）

② 平日の地域間流動量

- 堺市に関連するトリップでは堺市内々のトリップが最も多いものの、平成22年から令和3年にかけて20%減少しています。
- 次いで堺市と大阪市間のトリップが多く、発生量・集中量ともに約8%減少しています。
- また、堺市と南河内間のトリップ、泉州から堺市へのトリップは、わずかながら増加しています。

地域の人動き (2/3)

3 休日の地域別トリップ数

- 大阪府内の大ゾーン別に休日の発生集中量の推移をみると、平成22年から令和3年にかけて全ての地域で減少しています。
- 堺市では、大阪府内の北大阪地域と比べると減少割合が大きく、南河内、泉州地域と比べると減少割合が小さくなっています。

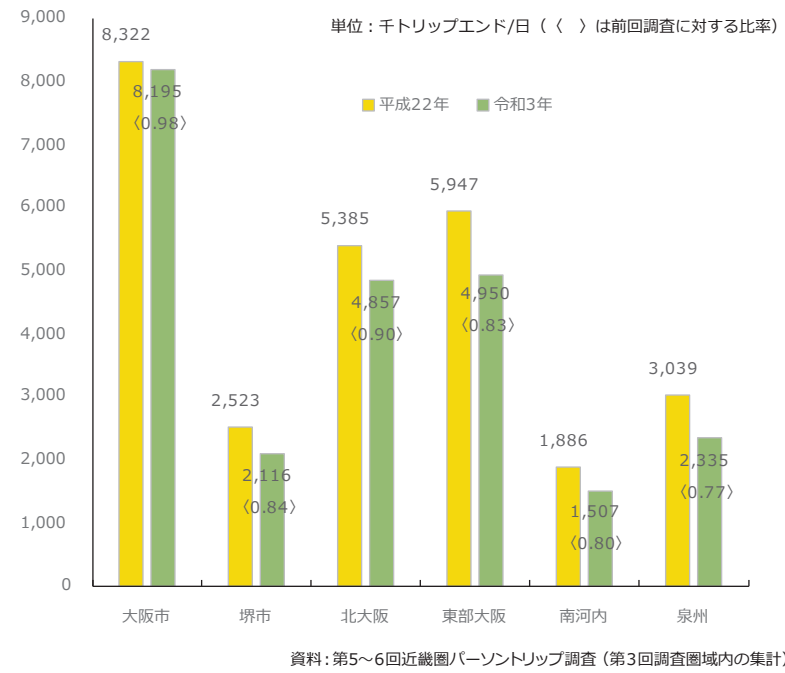


図16 休日の大ゾーン別発生集中量の推移（平成22年～令和3年）

- 区別に休日の発生集中量をみると、北区が最も多く、全体の約2割を占めています。
- 次いで堺区、南区、西区です。

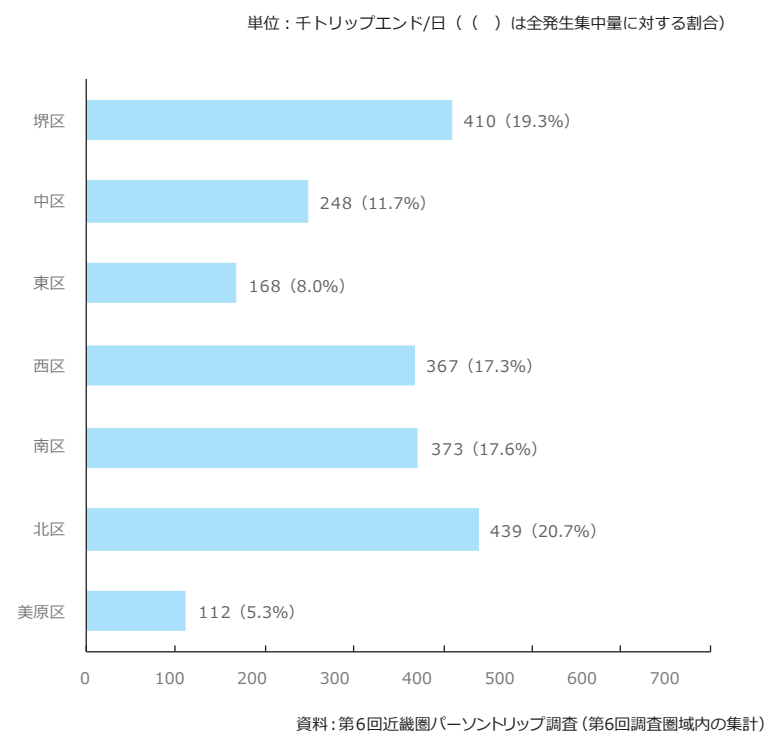


図17 休日の区別発生集中量（令和3年）

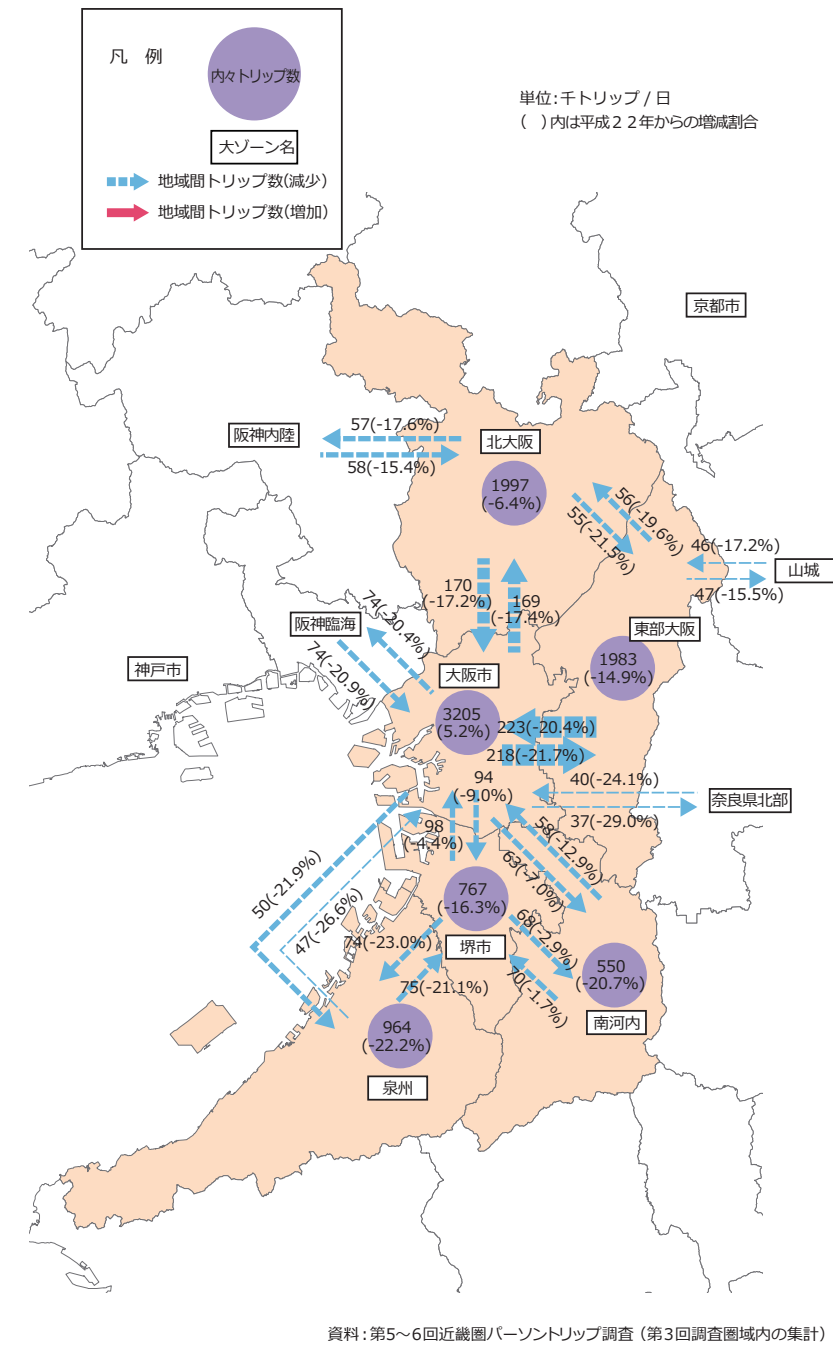


図18 休日の地域間流動量及び増減割合（平成22年～令和3年）

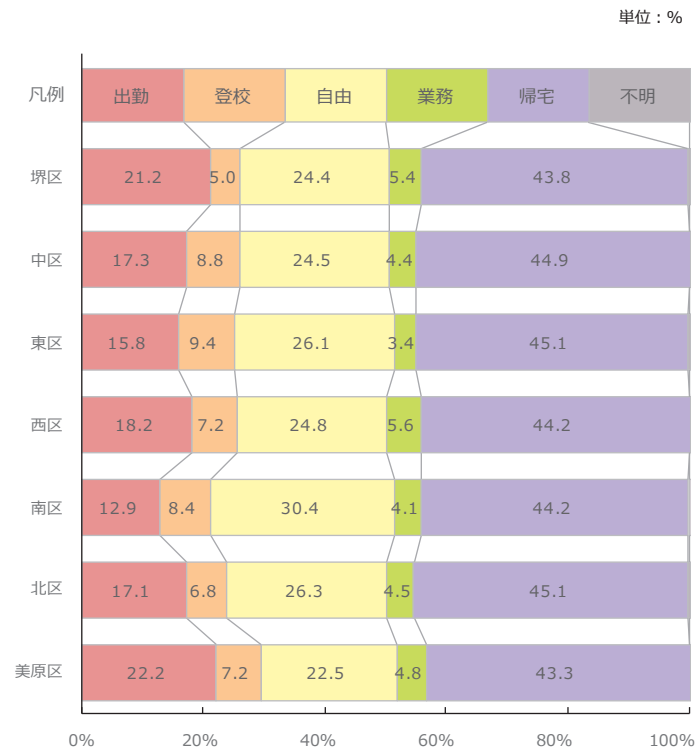
4 休日の地域間流動量

- 堺市に関連するトリップでは堺市内々のトリップが最も多いものの、平成22年から令和3年にかけて16%減少しています。
- また、堺市と泉州間のトリップは、平成22年から令和3年にかけて20%以上減少しており、堺市関連のトリップの中では最も減少が大きくなっています。

■ 地域の人動き (3/3)

5 区別にみた平日トリップの目的構成比

- 堺区と美原区では出勤目的が約21%～22%と他の区に比べて高くなっています。一方、南区は約13%と市内で最も低くなっています。
- 市街地である堺区においては、登校目的の割合が他区に比べ低くなっています。
- 自由目的では、南区のみ30%を上回っています。

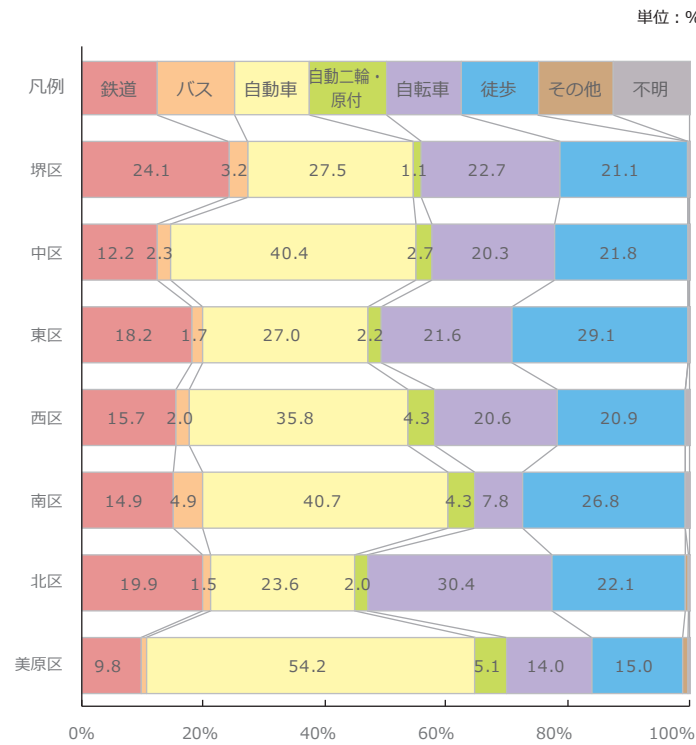


資料：第6回近畿圏パーソントリップ調査（第6回調査圏域内の集計）

図19 平日トリップの区別目的構成比（令和3年）

6 区別にみた平日トリップの代表交通手段構成比

- 堺区、北区、東区で鉄道の割合が高く、特に堺区では約24%を占めています。
- 自動車の割合は、美原区、南区、中区で高くなっており、特に美原区では半数以上が自動車トリップです。
- 自転車の割合は、北区で30%を超えるほか20%以上の区が多い中で、南区だけは10%を下回る約8%です。

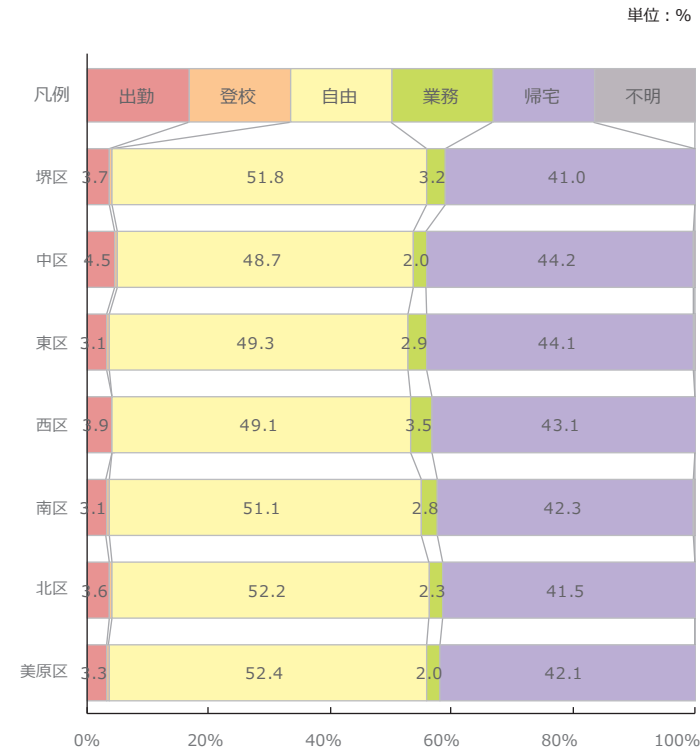


資料：第6回近畿圏パーソントリップ調査（第6回調査圏域内の集計）

図20 平日トリップの区別代表交通手段構成比（令和3年）

7 区別にみた休日トリップの目的構成比

- いずれの区においても自由トリップの割合が50%前後です。

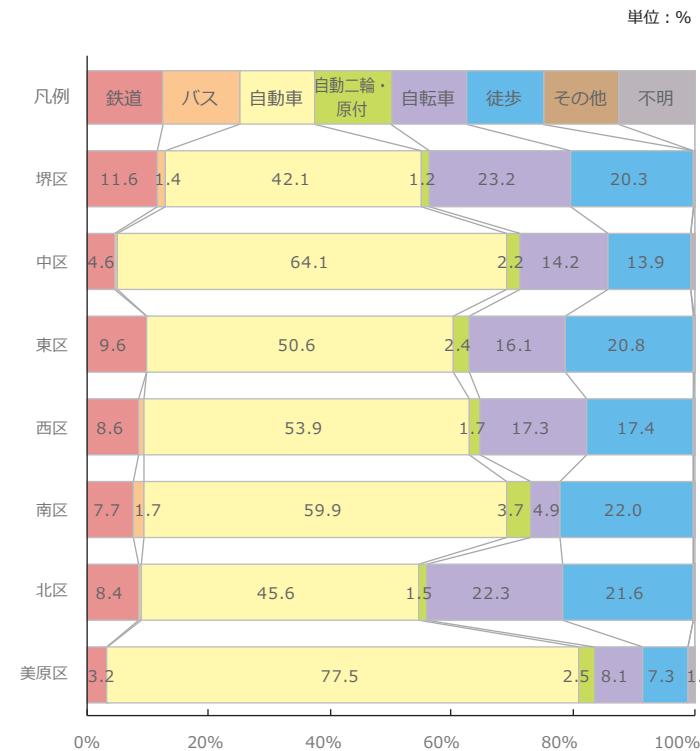


資料：第6回近畿圏パーソントリップ調査（第6回調査圏域内の集計）

図21 休日トリップの区別目的構成比（令和3年）

8 区別にみた休日トリップの代表交通手段構成比

- すべての区において平日と比べて自動車の割合が高く、他の交通手段の割合が低くなっています。
- 堺区と北区以外は自動車トリップが50%を上回っており、特に美原区では自動車の割合が約78%です。



資料：第6回近畿圏パーソントリップ調査（第6回調査圏域内の集計）

図22 休日トリップの区別代表交通手段構成比（令和3年）

目的からみた人の動き

1 目的別の代表交通手段構成比の推移

●令和3年の出勤目的は、鉄道と自動車の割合がほぼ等しく約35%です。

●平成12年から平成22年にかけて、鉄道の割合が増加し自動車の割合が減少しましたが、平成22年から令和3年にかけては自動車の割合が増加しています。

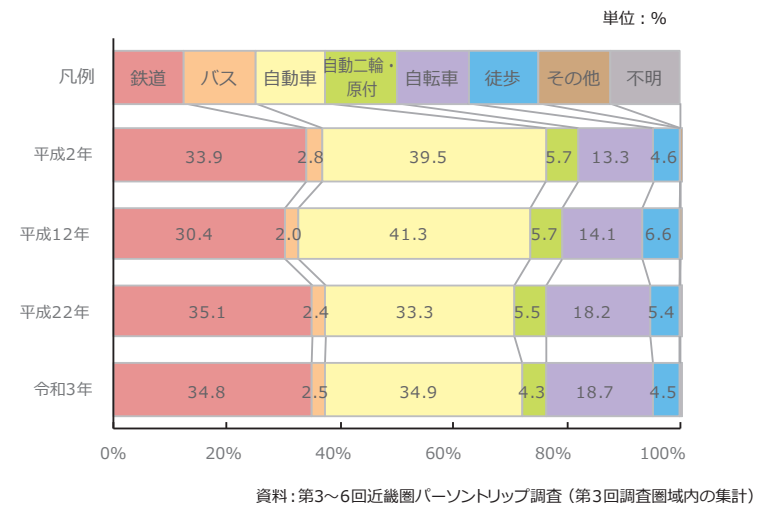


図23 出勤目的における代表交通手段構成比の推移（平成2年～令和3年）

●登校目的では、平成2年から令和3年にかけて大きな変化はみられず、鉄道が約20%、自転車が約13～15%、徒歩が約60%です。

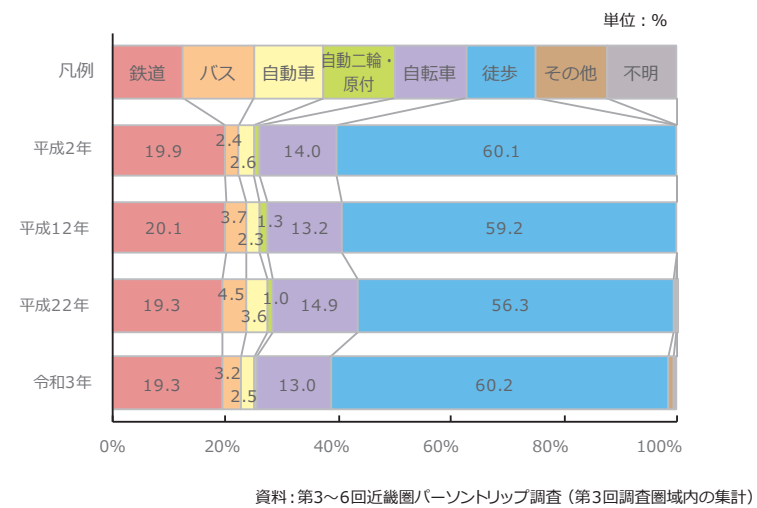


図24 登校目的における代表交通手段構成比の推移（平成2年～令和3年）

●自由目的では、平成2年から令和3年にかけて鉄道の割合は減少傾向が続いています。自転車や徒歩についても総じて減少傾向がみられます。

●自動車の割合は、平成2年から令和3年にかけて増加傾向が続いており、令和3年では約40%を占めています。

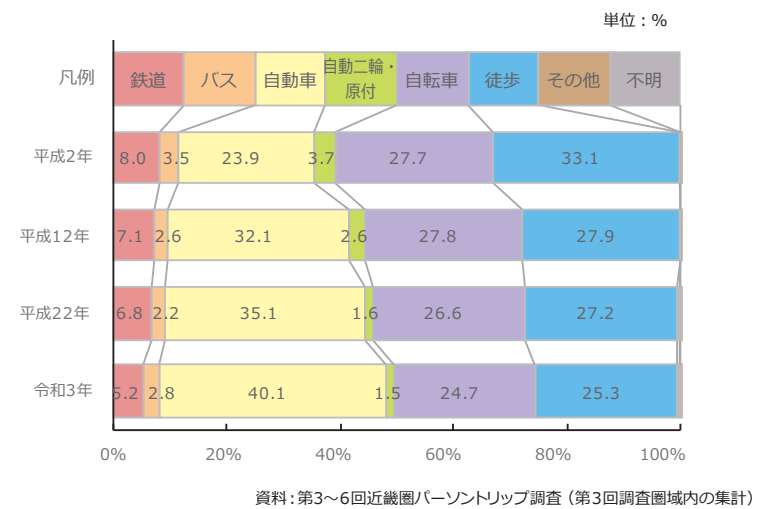


図25 自由目的における代表交通手段構成比の推移（平成2年～令和3年）

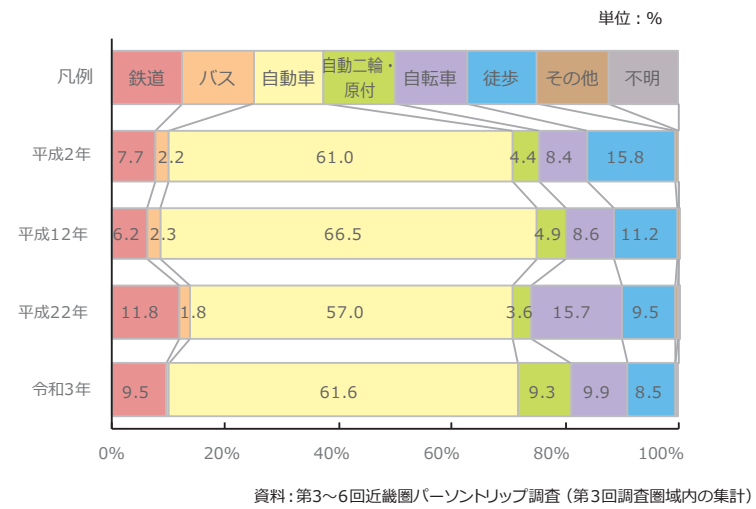


図26 業務目的における代表交通手段構成比の推移（平成2年～令和3年）

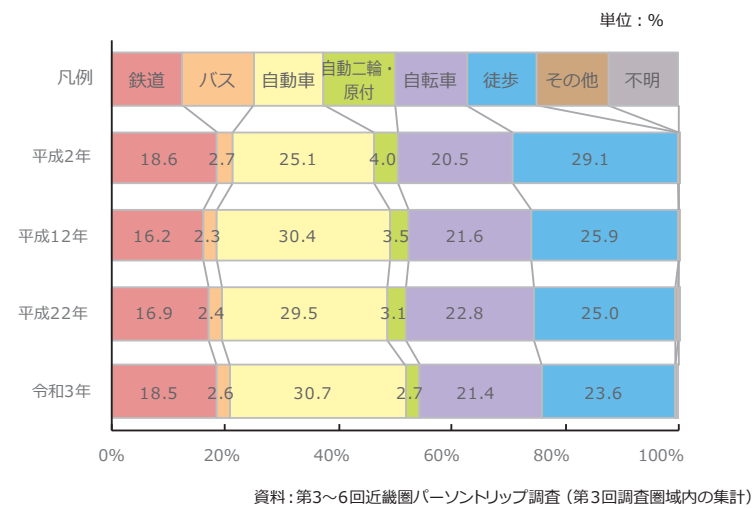


図27 帰宅目的における代表交通手段構成比の推移（平成2年～令和3年）

●業務目的では、平成12年から平成22年にかけて、鉄道の割合が増加し自動車の割合が大きく減少しましたが、平成22年から令和3年にかけては鉄道の割合が減少し自動車の割合が増加しています。

●平成22年から令和3年にかけて、自動二輪・原付の割合が増加する一方で、自転車の割合が減少しています。

●帰宅目的では、平成12年から令和3年にかけて大きな変化はみられませんが、令和3年は平成22年と比べると、鉄道とバス、自動車の割合が増加しています。

交通手段からみた人の動き

1 区別の鉄道端末手段構成比

- 平日トリップにおいて、鉄道駅へ行くため、あるいは鉄道駅を降りてからの交通手段（鉄道端末手段）構成の割合を区別にみると、堺区、東区、北区では徒歩の割合が約80%と高くなっています。
- 一方で、区内に鉄道駅がない美原区では徒歩の割合が10%にも満たず、他の区と比較して著しく低くなっています。
- 美原区ではバスの割合が約43%あり、区内で最も使われている鉄道端末手段です。
- 自転車の割合は、美原区で約39%、中区で約27%を占め、他の区と比べて大幅に高くなっています。

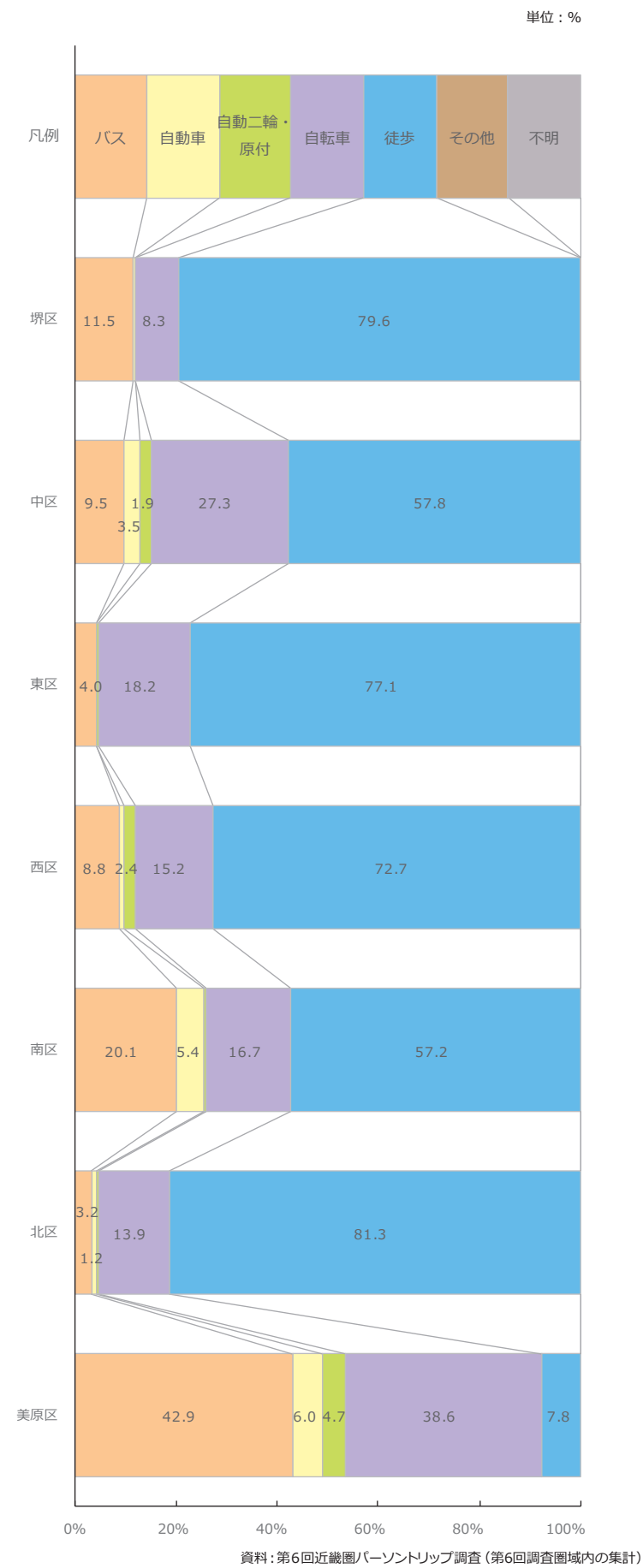


図28 区別の鉄道端末手段構成比（令和3年）

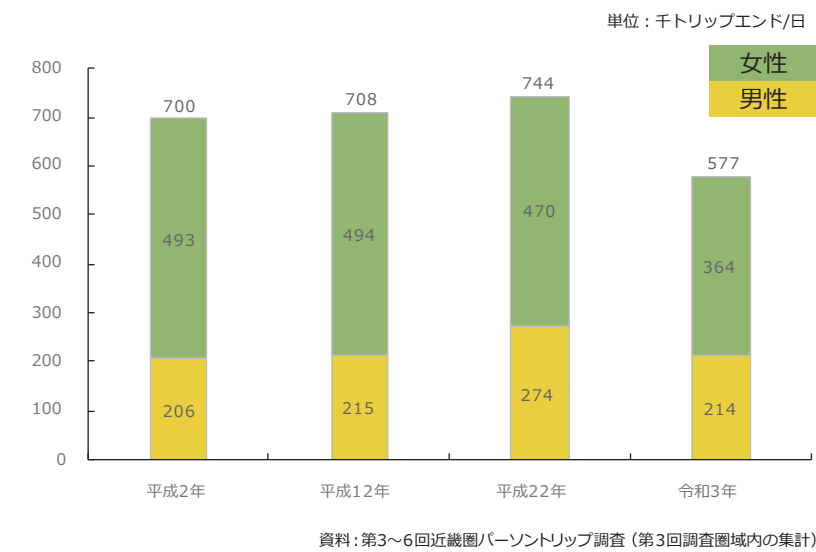


図29 男女別にみた自転車（代表交通手段）の発生集中量の推移（平成2年～令和3年）

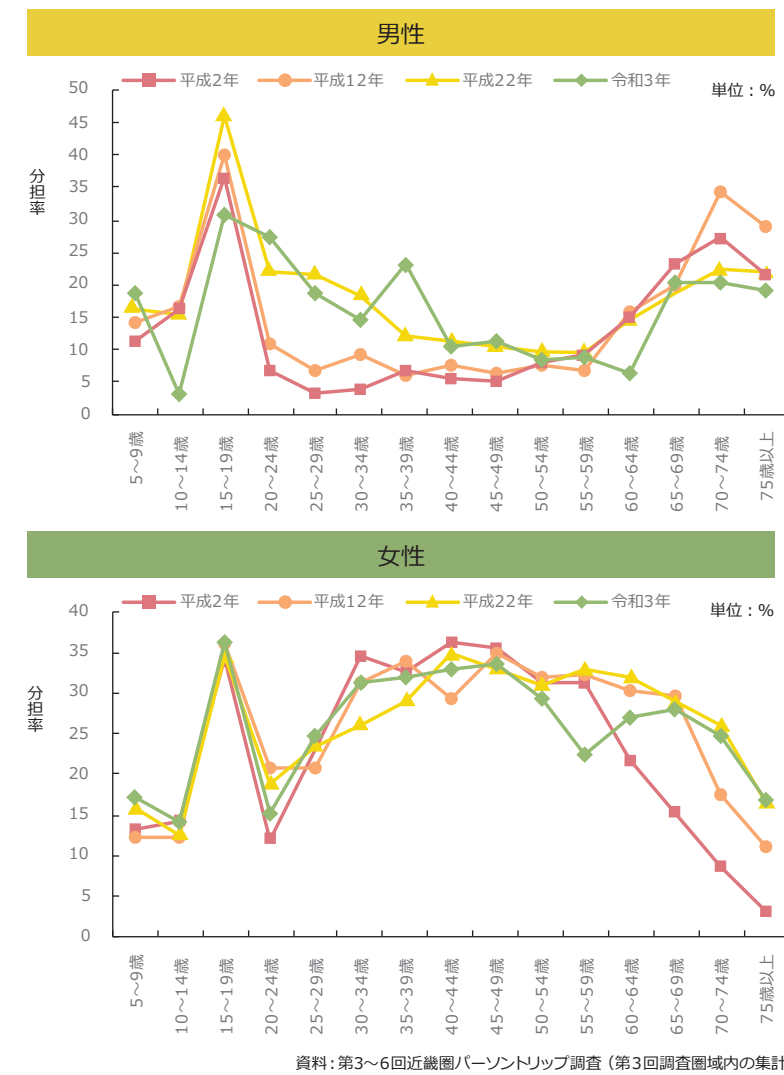


図30 年齢階層別にみた自転車（代表交通手段）分担率の推移（平成2年～令和3年）

2 自転車トリップの推移

- 平日の自転車トリップの推移をみると、男女を合わせた値は平成22年までは大きな変化がみられませんでした。平成22年から令和3年にかけては2割以上が減少しています。
- 男性の利用は平成12年から平成22年にかけて大きく増加したものの令和3年で平成12年並みの水準まで減少しています。
- 女性の利用はこれまでで最も低くなっています。

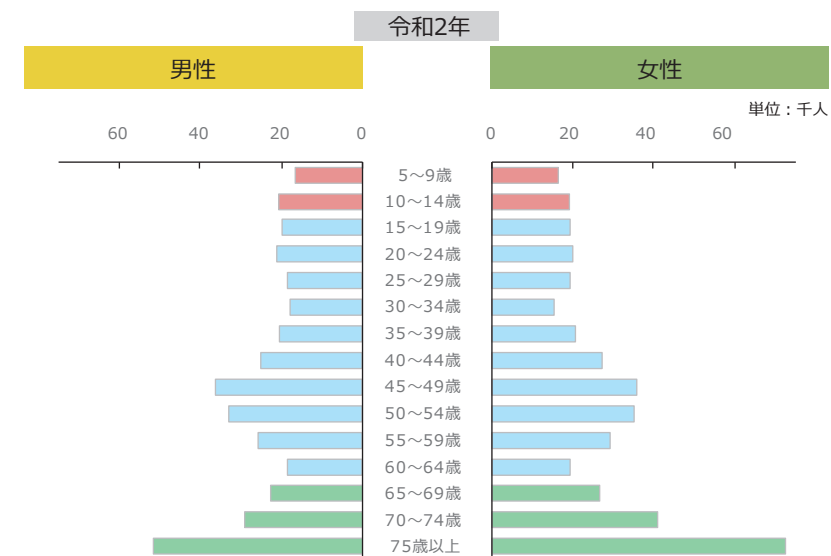
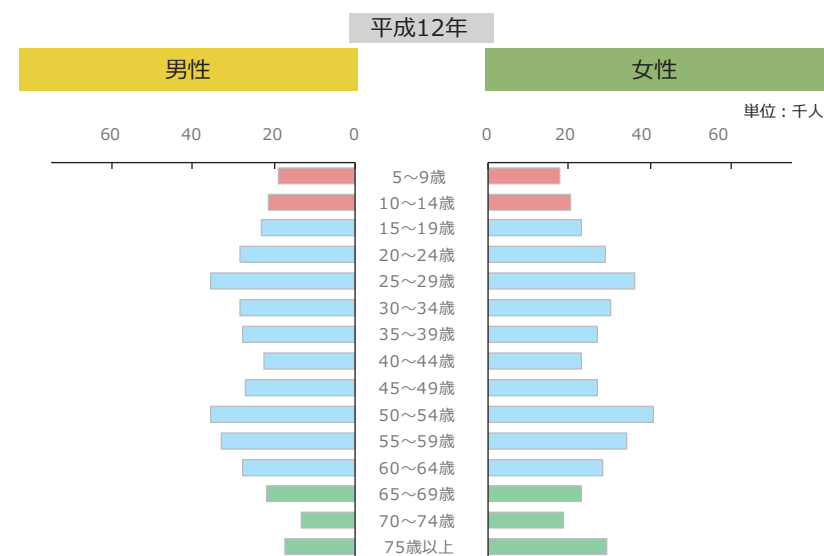
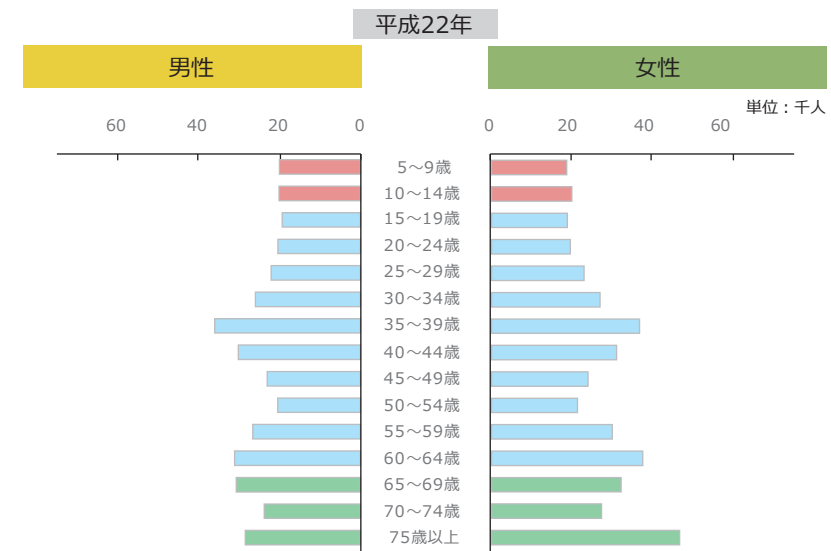
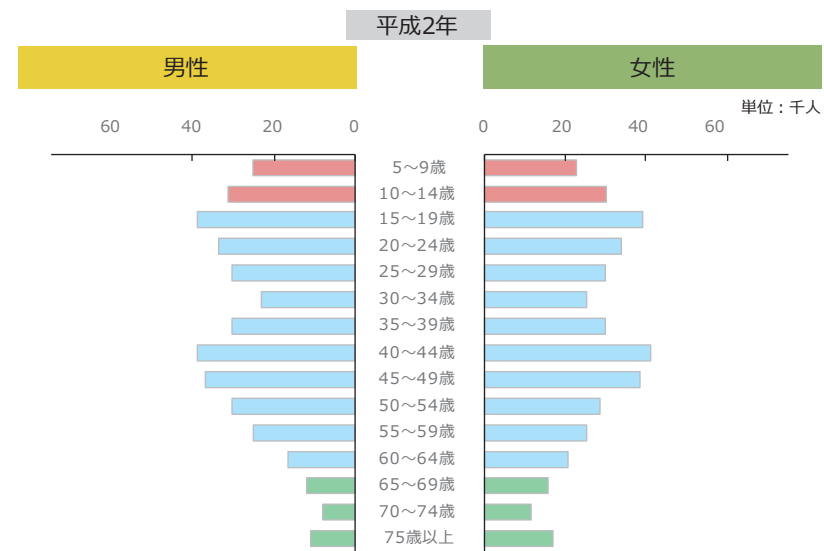
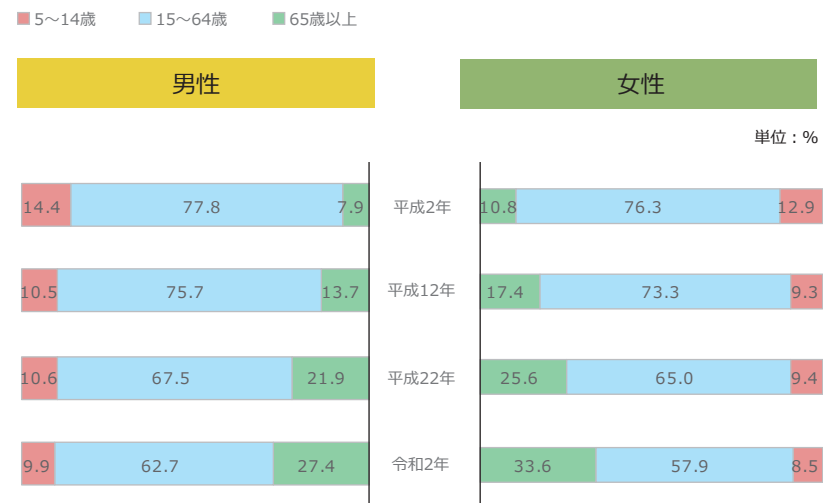
- 男性の自転車分担率を年齢階層別にみると、平成22年から令和3年にかけて10～14歳、15～19歳の若年層と60～64歳の利用が大きく減少しています。

- 女性の自転車分担率を年齢階層別にみると、平成22年から令和3年にかけて55歳～59歳の利用が大きく減少しています。また、平成22年に大きく落ち込んだ30歳代においては以前並みの水準に戻っています。

■ 年齢からみた人の動き (1/5)

① 年齢階層別の夜間人口の推移

- 5～14歳の人口が減少傾向にある一方で65歳以上の人口が増加傾向にあります。



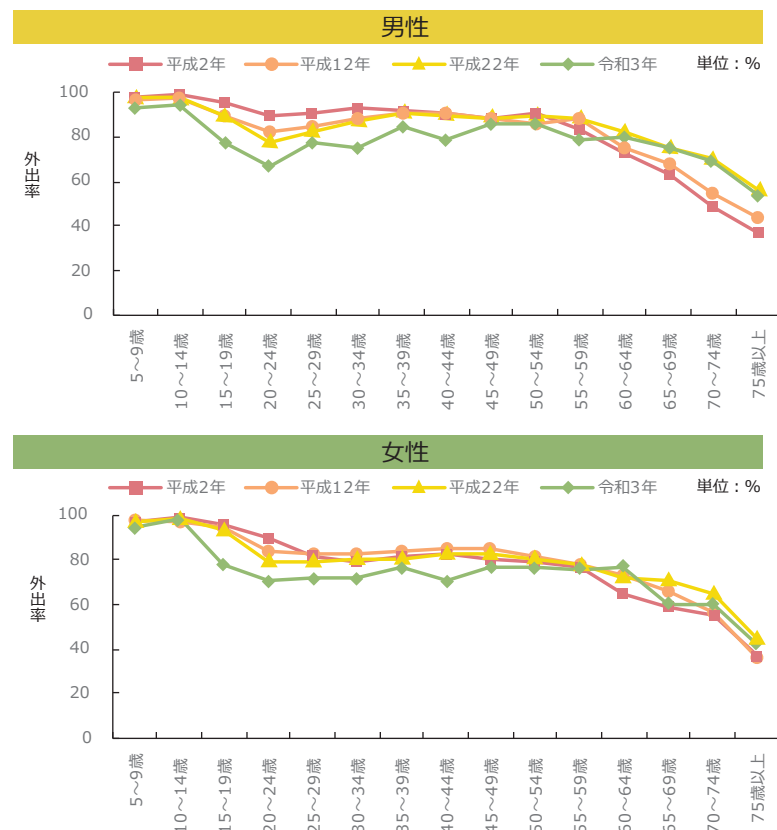
資料: 国勢調査

図31 性別・年齢階層別にみた夜間人口の推移 (平成2年～令和2年)

■ 年齢からみた人の動き (2/5)

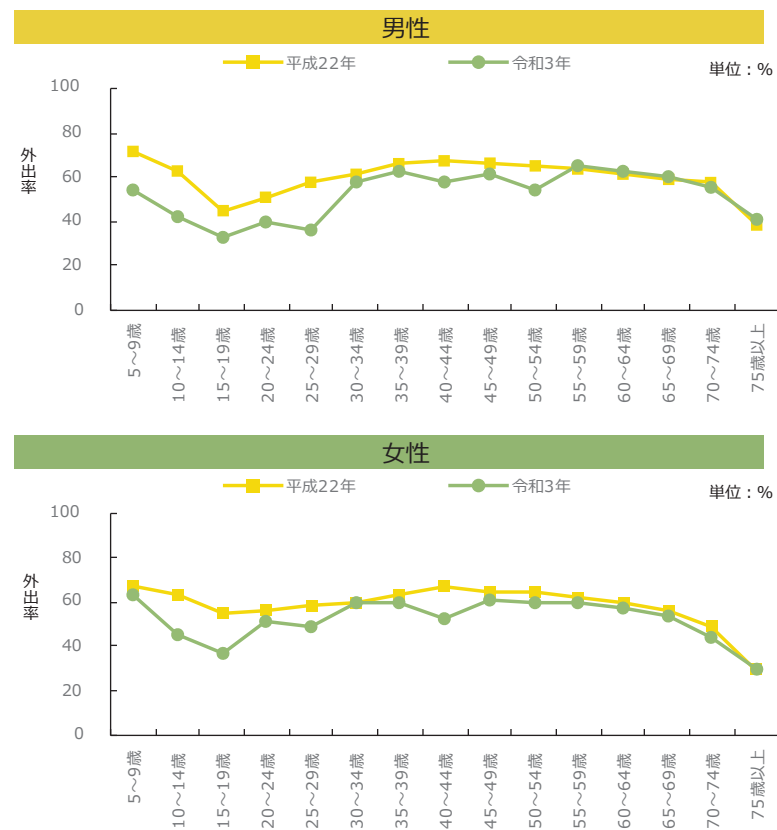
2 年齢階層別の外出率の推移

- 平日においては、男女とも59歳以下では平成22年から令和3年にかけて減少しています。
- 一方で、男性の60歳以上では、平成22年からの大きな変化はみられず、女性は60歳～64歳のみ、わずかに外出率の増加がみられます。



資料：第3～6回近畿圏パーソントリップ調査（第3回調査区域内の集計）

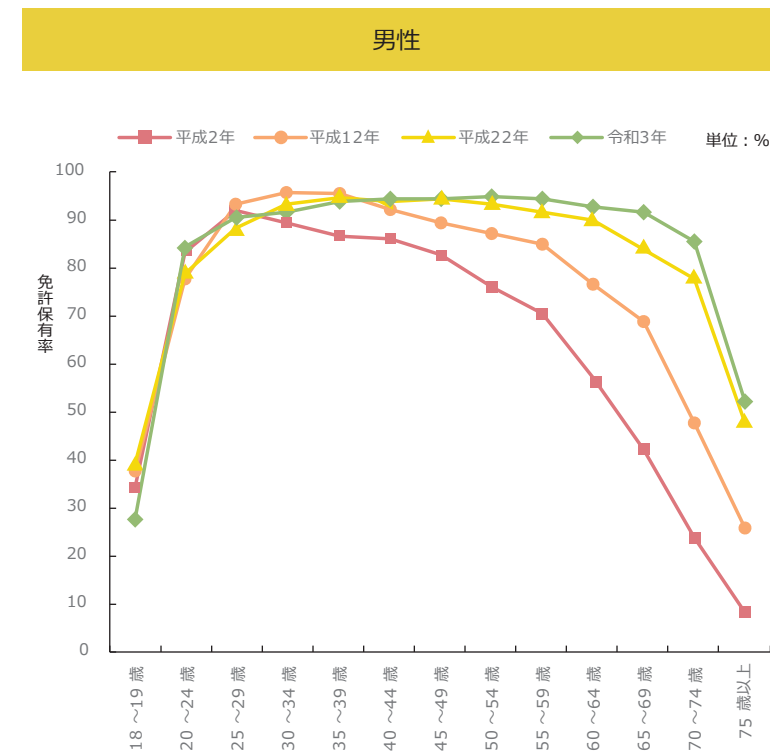
図32 性別・年齢階層別にみた平日の外出率の推移（平成2年～令和3年）



資料：第5～6回近畿圏パーソントリップ調査（第3回調査区域内の集計）

図33 性別・年齢階層別にみた休日の外出率の推移（平成22年～令和3年）

- 休日においては、男女とも54歳以下のほとんどの年齢階層で平成22年から令和3年にかけて減少しています。
- 一方で、55歳以上では、平成22年から大きな変化はみられません。



資料：第3～6回近畿圏パーソントリップ調査（第3回調査区域内の集計）

図34 性別・年齢階層別にみた免許保有率の推移（平成2年～令和3年）

3 年齢階層別の免許保有率の推移

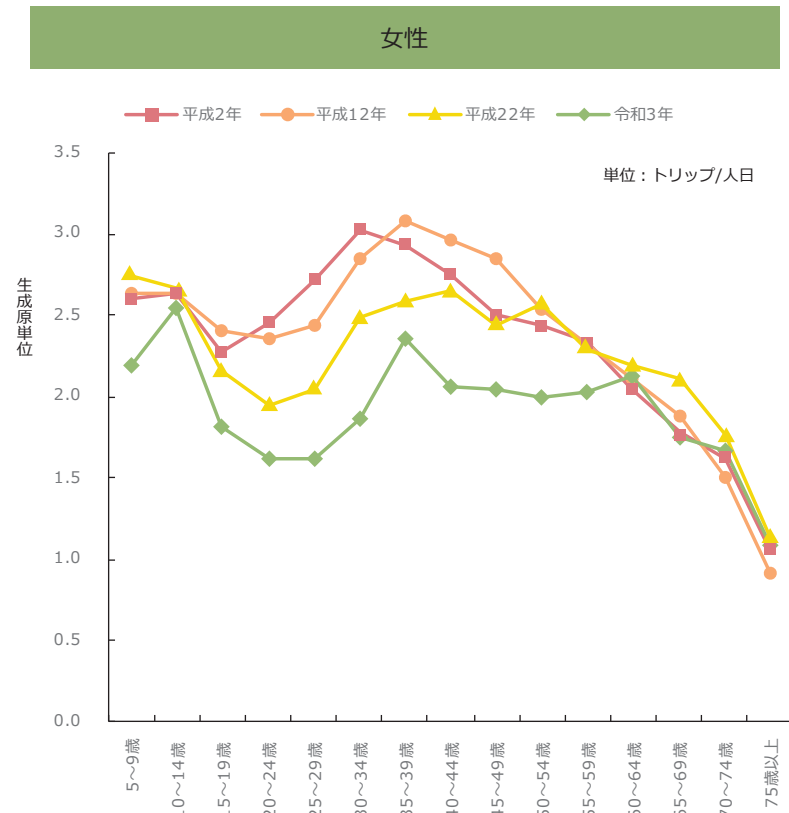
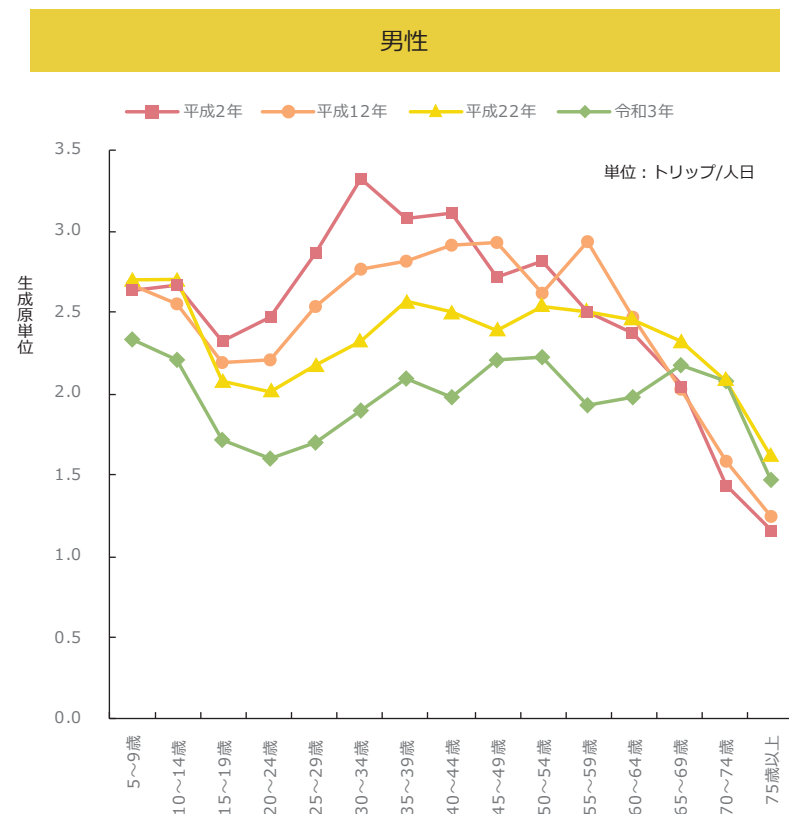
- 全体的に増加傾向にありますが、男性は平成22年と比べて大きな増加はみられなくなっています。

- 女性では40歳以上で大きく増加しており、女性の免許保有率の増加傾向が続いています。

■ 年齢からみた人の動き (3/5)

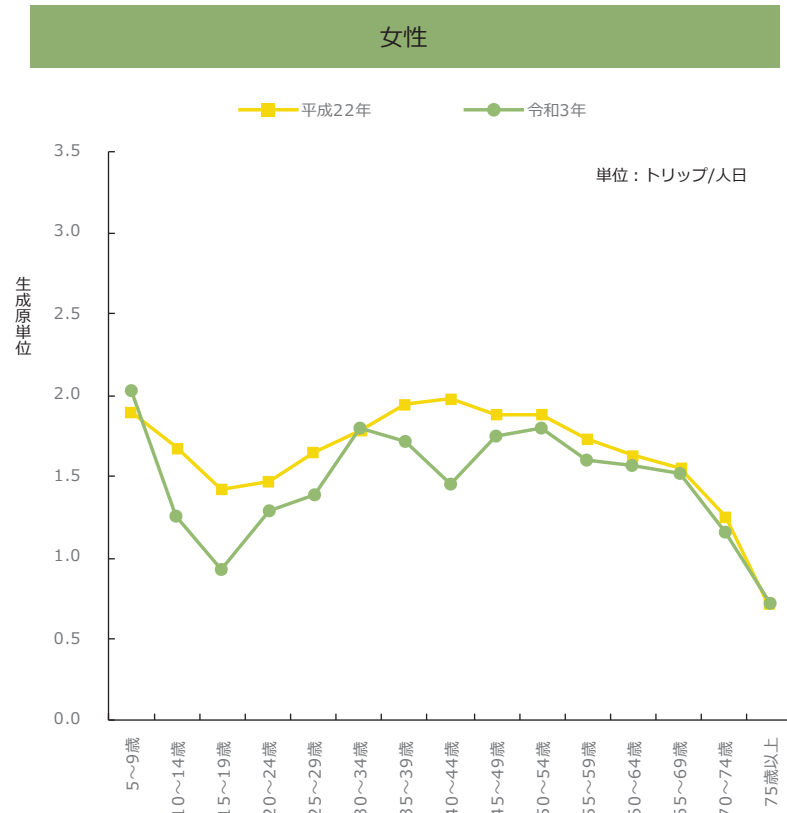
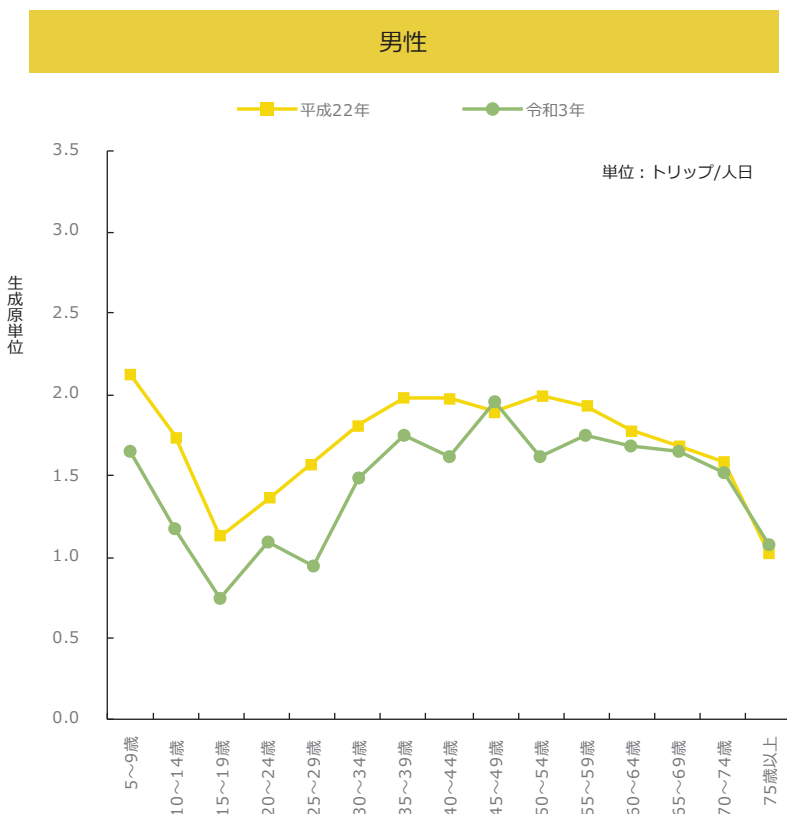
4 年齢階層別の生成原単位の推移

- 平日においては、男女ともに多くの年齢階層で平成22年から減少しています。
- 一方で、65歳以上の高齢層では減少割合が小さく、平成12年以前に比べると上回っている年齢階層もあります。



資料：第3～6回近畿圏パーソントリップ調査（第3回調査圏内の集計）

図35 性別・年齢階層別にみた平日の生成原単位の推移（平成2年～令和3年）



資料：第5～6回近畿圏パーソントリップ調査（第3回調査圏内の集計）

図36 性別・年齢階層別にみた休日の生成原単位の推移（平成22年～令和3年）

- 休日においては、男女ともに多くの年齢階層で平成22年から減少しています。
- 一方で、55歳以上の男性、45歳以上の女性では、平成22年からの減少割合は小さく、生成原単位に大きな変化はみられません。

■ 年齢からみた人の動き (4/5)

5 年齢階層別の代表交通手段構成比の推移

- 平日においては、20～64歳のうち男性の20～24歳と40代、女性の35～44歳以外は、平成22年から令和3年にかけて総じて鉄道の割合が増加する傾向がみられます。
- これらの年齢階層のうち男性では、概ね鉄道の割合は30%前後、自動車の割合は40%以上を占めていますが、女性の20代は鉄道が他の交通手段の2倍以上になっています。
- 一方で、男性の70歳以上、女性の65歳以上の高齢層においては、男女とも鉄道の割合が減少して、自動車の割合が増加する傾向がみられます。

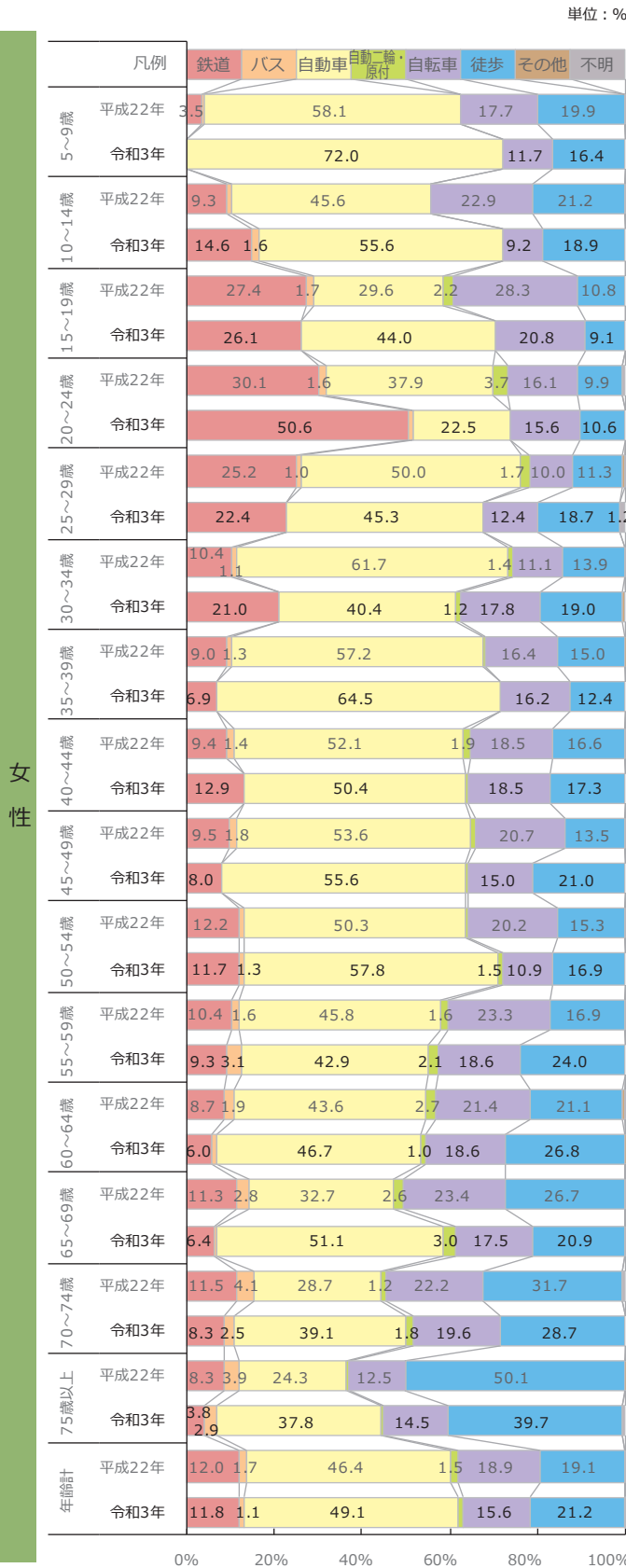
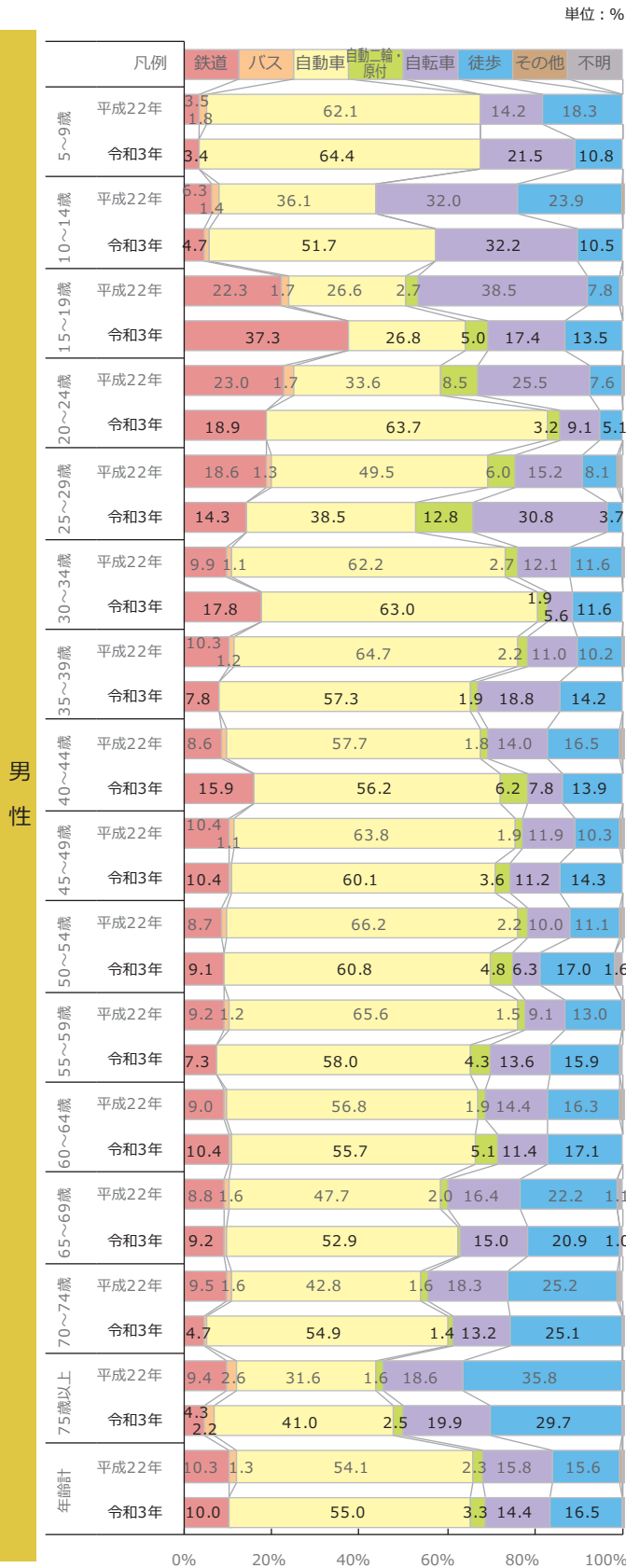


図37 性別・年齢階層別にみた平日の代表交通手段構成比の推移（平成2年～令和3年）

- また、女性は30～69歳の多くの年齢階層で、自転車が約30%を占める主要手段になっています。

■ 年齢からみた人の動き (5/5)

●休日においては、鉄道の割合が男性の多くの年齢階層で減少している中、15～19歳と30～34歳、40～44歳では大幅に増加しています。



●女性の20～24歳、30～34歳で鉄道の割合が大幅に増加し、65歳以上では、自動車の割合が増加しています。

●自転車の割合は、女性では20～24歳以外の全ての年齢階層で、平日に比べて低くなっています。

図38 性別・年齢階層別にみた休日の代表交通手段構成比の推移（平成22年～令和3年）

資料：第5～6回近畿圏パーソントリップ調査（第3回調査圏域内の集計）

移動困難者の動き (1/2)

1 外出に関する困難の内訳

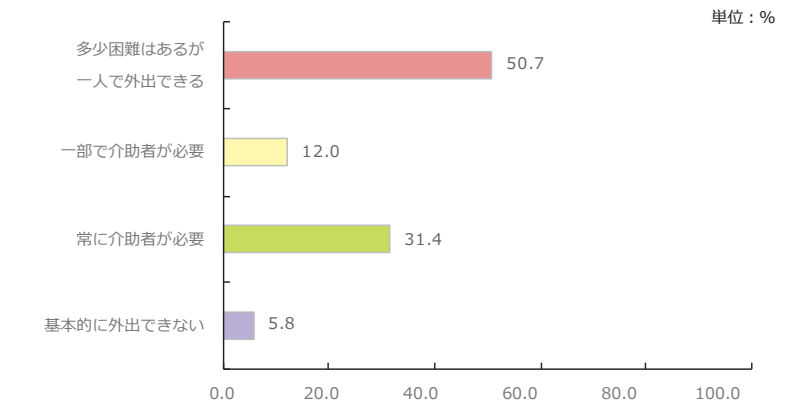
●外出に関する困難ありと回答した方は全体の約9%であり、その内訳をみると、一人で外出できる人が約51%、介助者が必要な人が約43%、外出できない人が約6%です。

2 年齢階層別の外出に関する困難の有無

●65歳以上で年齢が高くなるにつれ、外出に関する困難を抱えている人の割合が高くなっています。

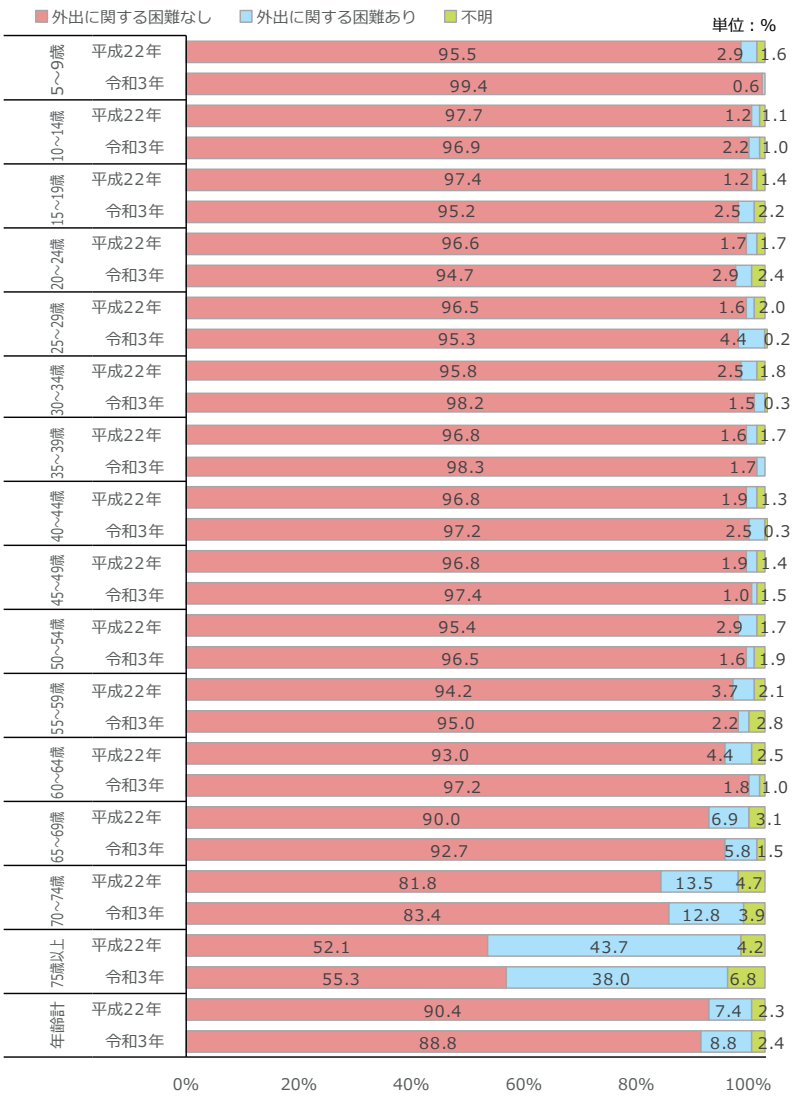
●65～69歳では10%未満ですが、75歳以上では約40%の人が何らかの外出に関する困難を抱えていることが分かります。

●令和3年では平成22年に比べて、50歳以上では外出に関する困難を抱えている人の割合が減少していますが、年齢計ではわずかに増加しています。



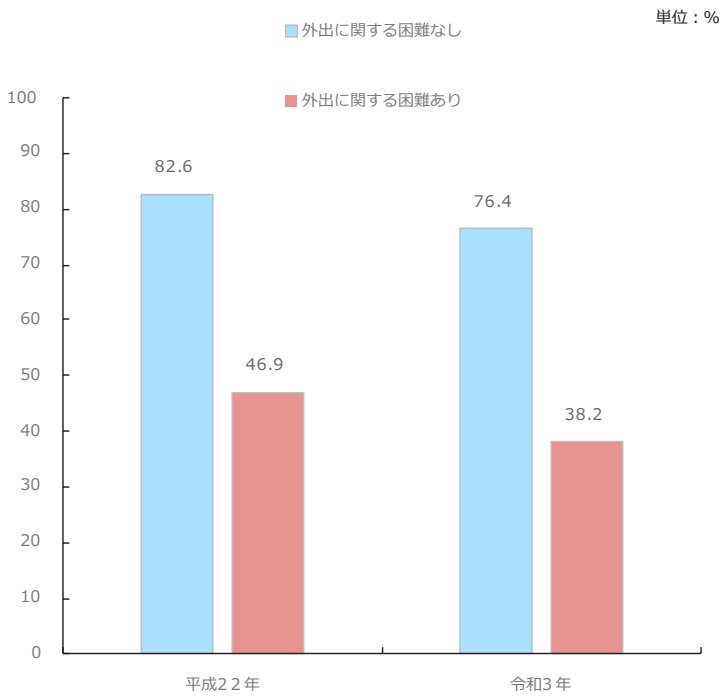
資料：第6回近畿圏パーソントリップ調査（第6回調査圏域内の集計）

図39 外出に関する困難の内訳（令和3年）



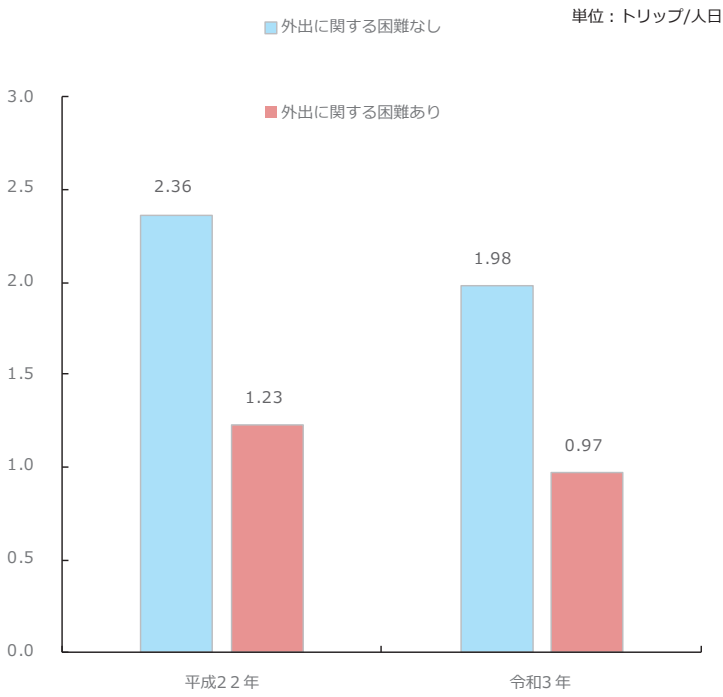
資料：第5～6回近畿圏パーソントリップ調査（第6回調査圏域内の集計）

図40 年齢階層別にみた外出に関する困難の有無（平成22年～令和3年）



資料：第5～6回近畿圏パーソントリップ調査（第6回調査圏域内の集計）

図41 外出に関する困難の有無別にみた外出率（平成22年～令和3年）



資料：第5～6回近畿圏パーソントリップ調査（第6回調査圏域内の集計）

図42 外出に関する困難の有無別にみた生成原単位（平成22年～令和3年）

3 外出に関する困難の有無別の外出率

●外出に関する困難の有無別に平日の外出率を比較すると、外出に関する困難がない人は約80%であるのに対して、困難がある人は半数程度しか外出していません。

●令和3年は、外出に関する困難の有無に関わりなく、平成22年に比べて外出率が6～8ポイント減少しており、新型コロナによる外出自粛の影響も窺えます。

4 外出に関する困難の有無別の生成原単位

●外出に関する困難の有無別に、平日1日当たりのトリップ数（生成原単位）を比較すると、外出に関する困難がある人は、ない人に比べ約1トリップ/人日少なくなっています。

移動困難者の動き (2/2)

5 外出に関する困難の有無別のトリップにおける目的構成比

- 外出に関する困難がある人の移動目的は、平成22年と同様に自由目的が最も多くなっています。また、外出に関する困難がない人に比べて、自由目的の割合は約2倍と高くなっています。

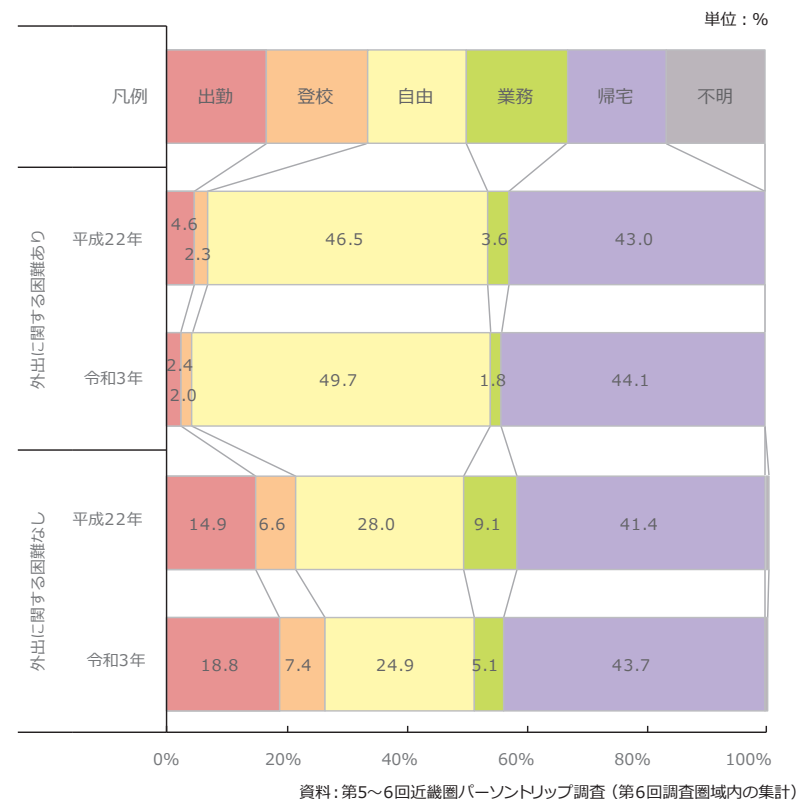


図43 外出に関する困難の有無別にみたトリップの目的構成比
(平成22年～令和3年)

6 外出に関する困難の有無別のトリップにおける代表交通手段構成比

- 平成22年と令和3年では大きな変化はなく、外出に関する困難がある人は、ない人に比べてバス、自動車、徒歩の割合が高くなっています。
- 鉄道利用の割合について令和3年では、外出に関する困難がある人は、ない人に比べて約17ポイント低くなっています。

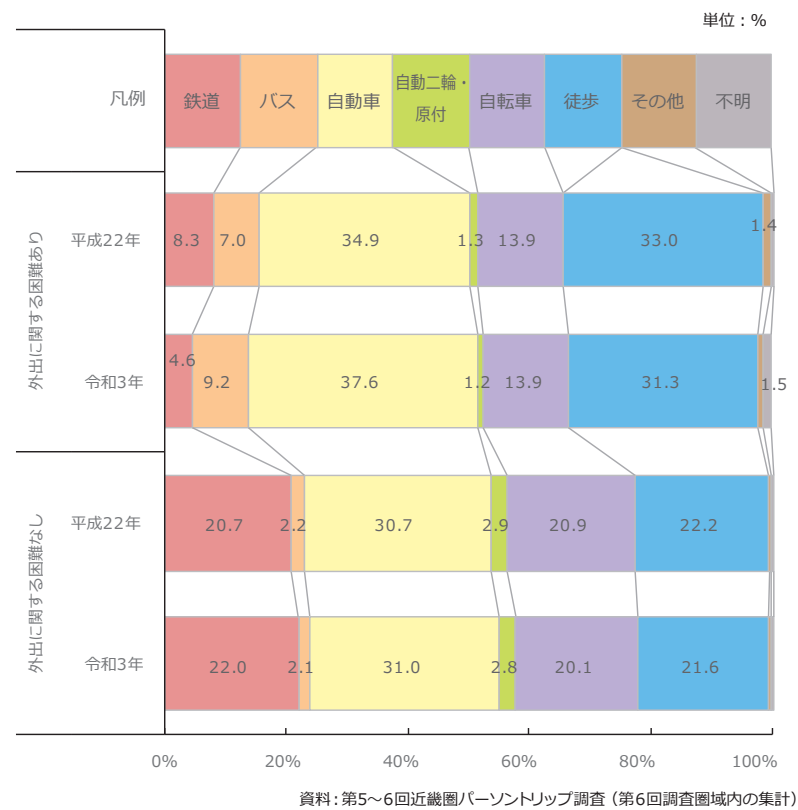


図44 外出に関する困難の有無別にみたトリップの代表交通手段構成比
(平成22年～令和3年)

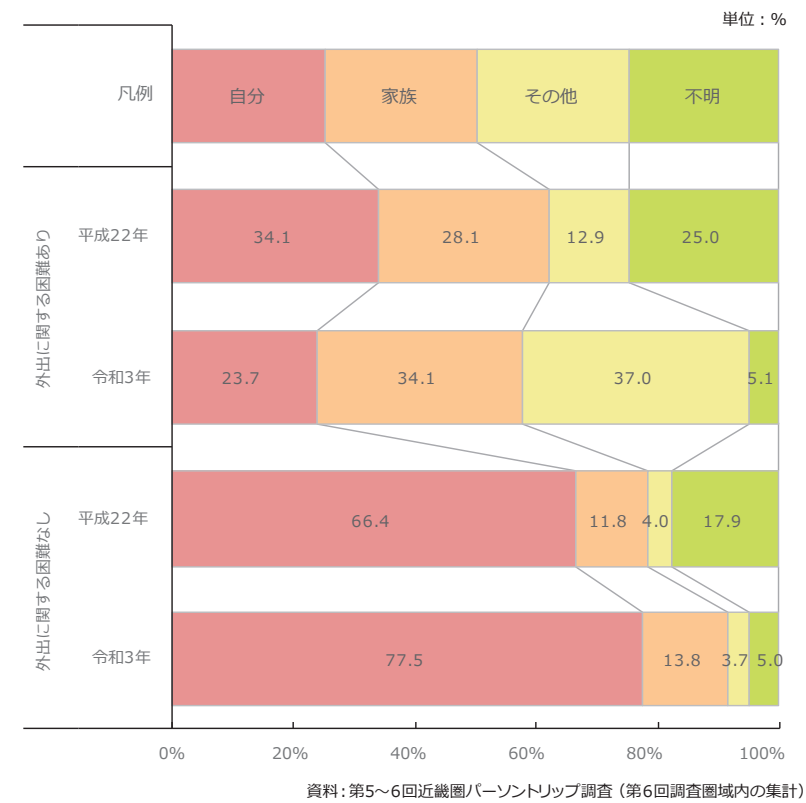


図45 外出に関する困難の有無別にみた自動車の運転者（平成22年～令和3年）

7 外出に関する困難がある人のトリップにおける運転者構成

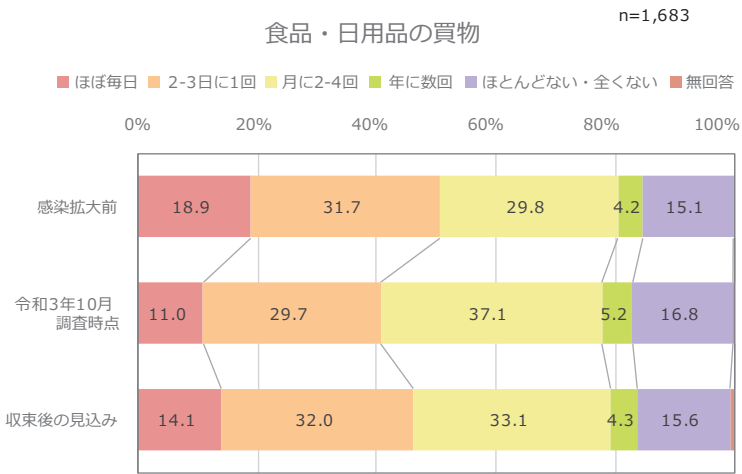
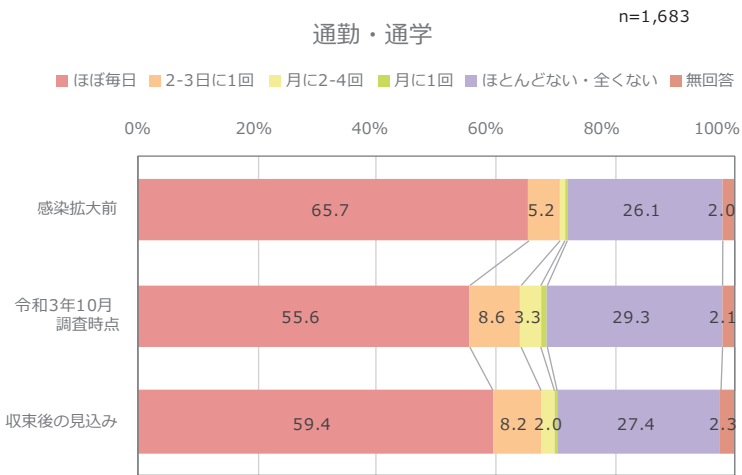
- 外出に困難がある人は、平成22年から令和3年にかけて自分で運転する割合が減少し、家族を含め他者による運転の割合が増加しています。
- 令和3年では、外出に関する困難がない人は自分で運転が約80%を占めるのに対し、困難がある人は、家族やその他が約70%を占めています。

新型コロナウイルス感染症による影響

第6回近畿圏パーソントリップ調査では、新型コロナウイルス感染症に関する補完調査として外出状況の変化（活動頻度や移動手段の行動の変化）について、堺市全体で1,683人の方に感染拡大前と調査時点で活動の種類ごとにどのくらいの頻度で行っているか、また収束後にはどのくらいの頻度で行うと思うかを調査し、回答をいただきました。

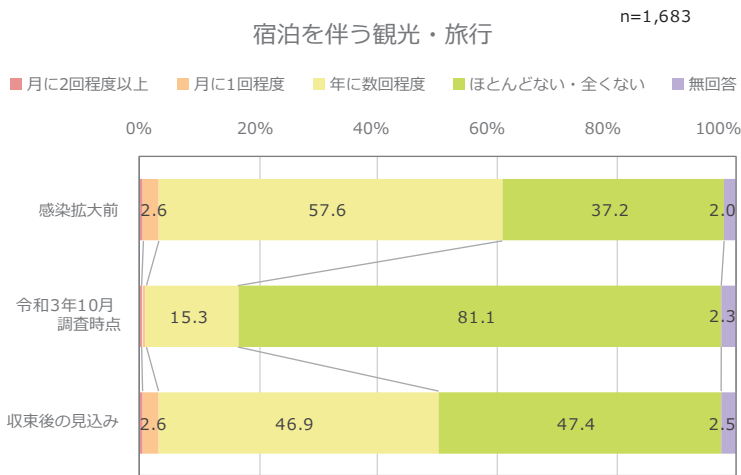
1 日常的な活動の頻度

- ほぼ毎日実施されていた活動（通勤・通学、食品・日用品の買い物）については、調査時点では感染拡大前より頻度が減少している様子がみられ、収束後には回復するものの、感染拡大前の水準には及ばない見込みとなっています。



資料：第6回近畿圏パーソントリップ調査（新型コロナウイルスの影響に関する補完調査）

図46 新型コロナウイルス感染拡大の影響による外出頻度の変化（日常的な活動）



資料：第6回近畿圏パーソントリップ調査（新型コロナウイルスの影響に関する補完調査）

図47 新型コロナウイルス感染拡大の影響による外出頻度の変化（非日常的な活動）

2 非日常的な活動の頻度

- 宿泊を伴う観光・旅行活動においては、感染拡大前は「年に数回程度」が5割以上を占めていましたが、コロナ禍の調査時点では大幅に低下しています。収束後には頻度が調査時点から大きく上昇するものの、感染拡大前の水準には及ばない見込みとなっています。

注) 感染拡大前 : 令和2年1月「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」、同年3月「世界的大流行（パンデミック）」の宣言以前の通常期
令和3年10月調査時点 : 緊急事態宣言がなされておらず、陽性者数が一定程度減少した時期
収束後の見込み : 自分の意思で自分の活動等を選択することができる状況

■ 堺市の高齢者に関する移動実態（堺市独自調査より）

第6回パーソントリップ調査による交通行動の実態把握と併せて、堺市の高齢者の移動に関する実態把握を行いました。

① ここ1年間の外出行動

- 65歳以上の高齢者の外出頻度について、食料品・日用品の買物では、週に1日以上外出する方が80%以上となっています。
- また、趣味・娯楽・習い事や家族・友人との交流では、週に1日以上外出する人が約30%いるのに対し、年に数回程度や外出していない人も半数みられる等、自由目的での活動には個人差がみられます。

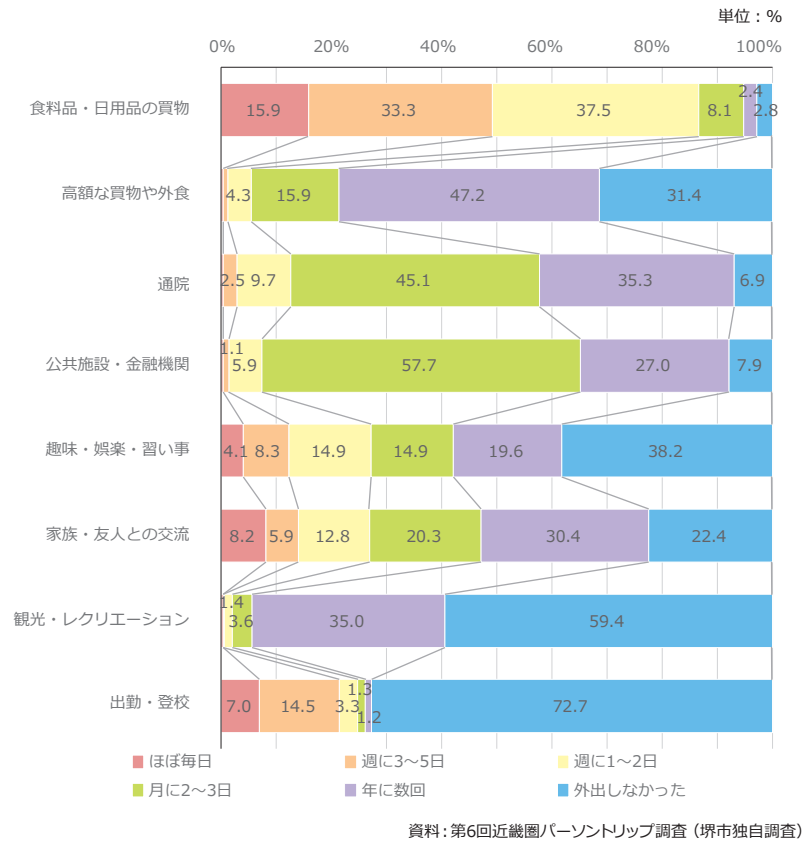


図48 ここ1年間の目的別の外出頻度（65歳以上）

- 普段の外出時にバスを利用する頻度について、堺市全体でみると、月に2～3日以上利用する人の割合は30%となっています。
- 区別にみると、南区は外出時においてバスの利用頻度が高い人が多く、月に2～3日以上利用する人の割合は43%と最も高くなっています。
- 一方、東区ではバスを利用しない人の割合が49%と最も高くなっています。

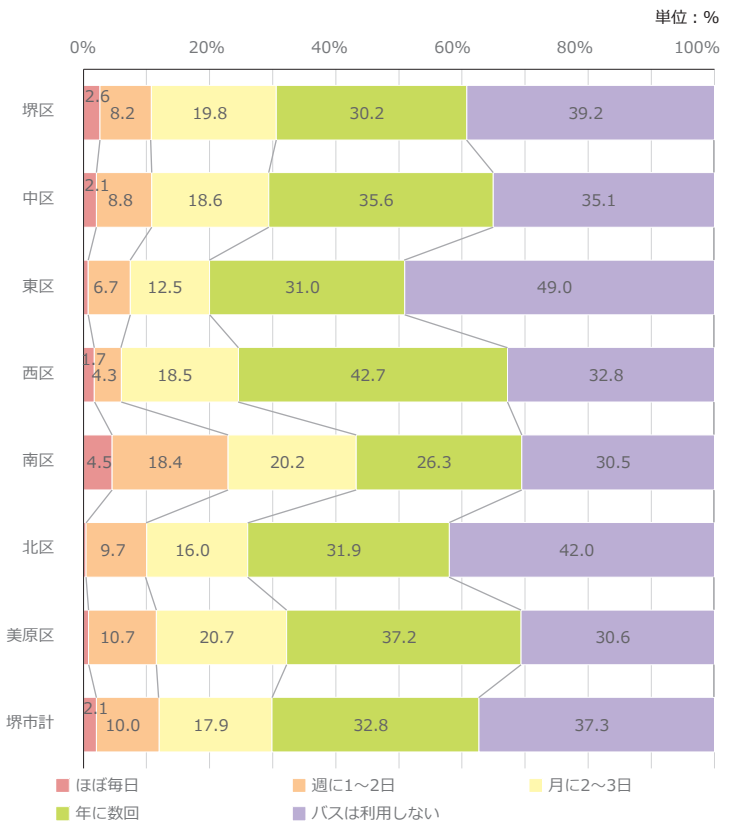


図49 普段の外出時のバスの利用頻度（65歳以上）

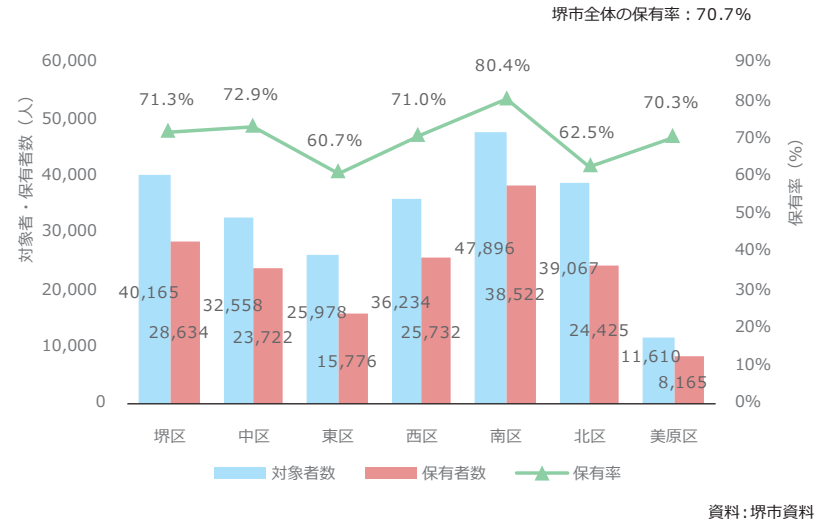


図50 おでかけ応援カードの保有状況

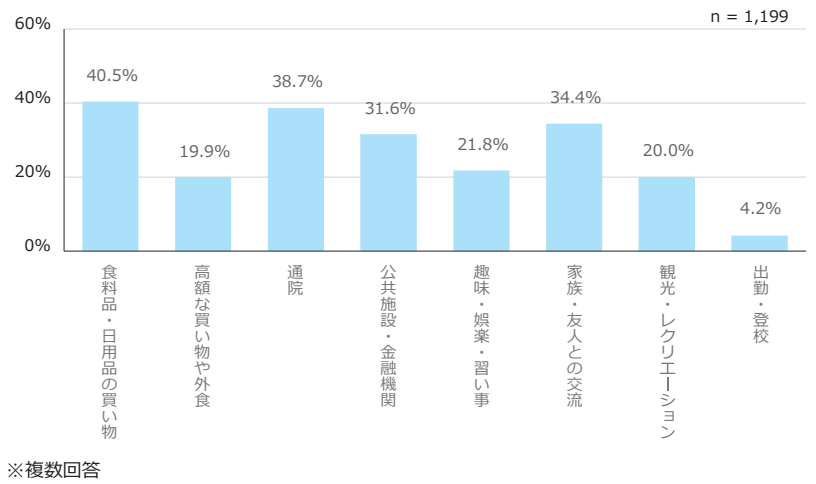


図51 おでかけ応援制度の利用目的

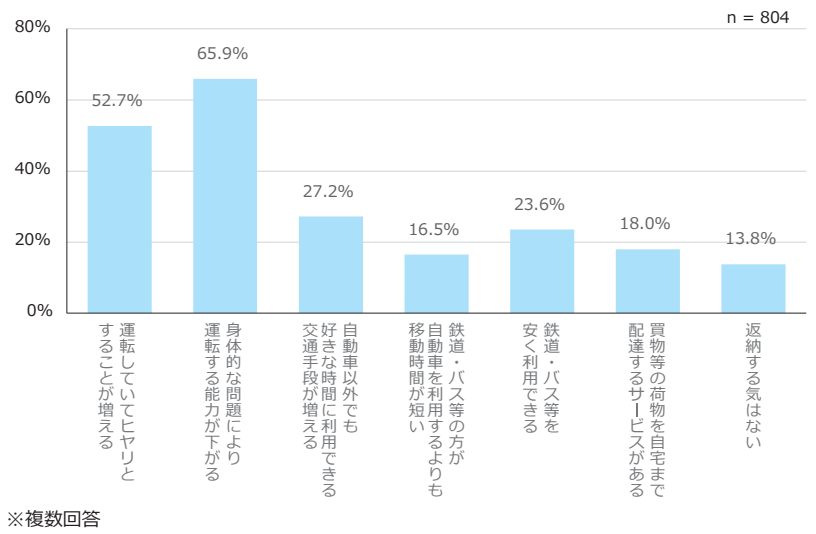


図52 自動車運転免許を返納しようと思う状況

② おでかけ応援制度の利用

- 65歳以上の堺市民が路線バスなどを1乗車100円で利用できるおでかけ応援制度の利用者（おでかけ応援カードの保有者）は、堺市全体で約71%となっています。
- おでかけ応援制度は、食料品・日用品の買い物、通院、家族・友人との交流などで多く利用されています。

③ 自動車運転免許の返納

- 自動車運転免許を返納しようと思う状況について、「身体的な問題により運転する能力が下がる」や「運転していてヒヤリとすることが増える」など、身体的な問題を理由に返納を考える人が多くなっています。
- 次いで、「自動車以外でも好きな時間に利用できる交通手段が増える」、「鉄道・バス等を安く利用できる」といった交通手段に関する回答が多くなっています。

 調査票 (世帯票)

世帯票

近畿圏パーソナルトリップ調査

秘世帯票

記入についてのお願ひ

黒の筆記用具で記入してください。

回答は、の部分(回答欄)に記入し、回答欄が1などの選択式の場合は、(丸をつける)のように記入してください。

世帯票に不足がある場合、その他で不明な点がございましたらサポートセンターにご連絡ください。

政府統計

国土交通省 道徳県 京都府 大阪府
兵庫県 奈良県 和歌山県
大阪市 堺市 神戸市

1 あなたの世帯の人数について、お答えください。

世帯の人数 うち 5才未満

2 あなたの現住所について、お答えください。

郵便番号 市区 郡町村 丁目 番 番地 号

3 世帯でお持ちの自動車・自転車の台数について、お答えください。

※お持ちでない場合は回答欄に0台と記入してください。

自動車 台 自動二輪車 (50cc超) 台 原動機付自転車 (50cc以下) 台 自転車 台

4 あなたの世帯の方、全員について、お答えください。ただし、5歳未満の方の記入は不要です。

世帯構成	性別	年齢	就業形態	勤務先・通学先・通園先の住所	場所の種類	自動車運転免許	外出に関しての困難の有無	要介護認定の有無	障害者手帳の有無	※複数回答可
続柄		※令和3年10月1日現在	※職業なしの方も記入	※職業のある方のみ記入	※該当するもの一つ記入	※過去に返納された場合は、「3返納した」と選択	※該当するもの一つ記入	※該当するもの一つ記入	※主なものを一つ記入	
アから選択			イから選択	ウから選択	エから選択		オから選択	カから選択	キから選択	
記入例	1 男 2 女	40才	[2]	[2]	1 現住所と同じ 2 現住所以外→ 大阪 都道府県 大阪市中央 市区 郡町村 大手前 [7] 1 丁目 5 番 44 号	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	[2]	1 なし 2 あり 3 返納した	1 なし 2 あり 3 返納した	1 なし 2 あり 3 返納した
1人目 世帯主	1 男 2 女	才	[]	[]	1 現住所と同じ 2 現住所以外→ 都道府県 市区 郡町村 丁目 番 番地 号	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	[]	1 なし 2 あり 3 返納した	1 なし 2 あり 3 返納した	1 なし 2 あり 3 返納した
2人目	1 男 2 女	才	[]	[]	1 現住所と同じ 2 現住所以外→ 都道府県 市区 郡町村 丁目 番 番地 号	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	[]	1 なし 2 あり 3 返納した	1 なし 2 あり 3 返納した	1 なし 2 あり 3 返納した
3人目	1 男 2 女	才	[]	[]	1 現住所と同じ 2 現住所以外→ 都道府県 市区 郡町村 丁目 番 番地 号	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	[]	1 なし 2 あり 3 返納した	1 なし 2 あり 3 返納した	1 なし 2 あり 3 返納した
4人目	1 男 2 女	才	[]	[]	1 現住所と同じ 2 現住所以外→ 都道府県 市区 郡町村 丁目 番 番地 号	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	[]	1 なし 2 あり 3 返納した	1 なし 2 あり 3 返納した	1 なし 2 あり 3 返納した
5人目	1 男 2 女	才	[]	[]	1 現住所と同じ 2 現住所以外→ 都道府県 市区 郡町村 丁目 番 番地 号	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	[]	1 なし 2 あり 3 返納した	1 なし 2 あり 3 返納した	1 なし 2 あり 3 返納した
6人目	1 男 2 女	才	[]	[]	1 現住所と同じ 2 現住所以外→ 都道府県 市区 郡町村 丁目 番 番地 号	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	[]	1 なし 2 あり 3 返納した	1 なし 2 あり 3 返納した	1 なし 2 あり 3 返納した

7 続柄

1. 世帯主の配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 世帯主の父母
5. 世帯主の配偶者の父母
6. 孫
7. 祖父母
8. 兄弟姉妹
9. 他の親族
10. その他

8 就業(形態・状況)

【職業をお持ちの方】
※産休・休職等も含む
1. 自営業主・家族従業者
2. 正規の職員・従業員
3. 派遣社員・契約社員等
4. パート・アルバイト
5. 会社等の役員
6. その他
【職業をお持ちでない方】
7. 園児・生徒・学生など
8. 専業主婦・主夫
9. 無職

9 産業

1. 農業・林業・漁業 (第一次産業従事者)
2. 鉱業・建設業・製造業 (第二次産業従事者)
3. 上記以外 (第三次産業従事者)

10 建物・場所の種類

居住系
1. 住宅・寮
2. 学校・教育施設・幼稚園・保育施設
3. 文化施設
4. 宗教施設
5. 医療・厚生・福祉施設
業務系
6. 事務所・会社・銀行
7. 官公庁
8. 問屋・卸売市場
9. 小規模小売店
10. 大規模小売店
11. 物産直売所
12. 飲食店
13. 宿泊施設
14. 娯楽・レクリエーション施設
工業系
15. 工場・作業所
16. 交通・輸送施設
17. 供給・処理施設
18. 倉庫
その他
19. 公園・緑地
20. 海・山・川などの自然
21. 商店街など「まち」
22. 体育・スポーツ施設
23. 農林漁業作業地・施設
24. 工事現場・その他

11 外出に関しての困難

1. 困難ではない (保護者の同伴が必要な幼児を含む)
2. 多少困難はあるが、一人で外出できる (杖などの補助具があれば一人で外出できる方)
3. 一部で介助者が必要 (公共交通を利用する際など、必要な部分で介助があれば一人で外出できる方)
4. 常に介助者が必要 (介助者の同行が常であれば外出できる方)
5. 基本的に外出できない (病気などにより度々一人で外出できない方)

12 要介護認定

1. 要支援1
2. 要支援2
3. 要介護1
4. 要介護2
5. 要介護3
6. 要介護4
7. 要介護5

13 身体障害者手帳

1. 視覚障害
2. 聴覚障害
3. 平衡機能障害
4. 音声・言語、そしゃく機能障害
5. 肢体不自由
6. 内臓障害

ひきつづき、ご家族で5歳以上の方は、記入例を参照して、個人票をご記入ください。

解説表

個人票・世帯票の該当する設問に下表の具体的な内容を確認してお答えください		
A 就業（形態・状況）の種類		
種類	就業形態	注意点など
1.自営業主・家族従業者	自営業主・家族従業者	
2.正規の職員・従業員	正規の職員・従業員	
3.派遣社員・契約社員等	派遣社員・契約社員等	
4.パート・アルバイト	パート・アルバイト	
5.会社等の役員	会社等の役員	
6.その他	その他	
7.園児・生徒・学生など	園児・生徒・学生など	※定職を持ちながら高校、大学などに通っている方は「職業をお持ちの方」からお選びください
8.専業主婦・主夫	専業主婦・主夫	※調査日当日に収入を伴う仕事をされた方は「職業をお持ちの方」からお選びください
9.無職	無職	※調査日当日に収入を伴う仕事をされた方は「職業をお持ちの方」からお選びください
B 活動の種類		
種類	活動の種類	具体的な内容
11.食品・日用品の買物	食品・日用品の買物	生活必需品、日常食品などの日用品の買物（業務での買物は含まない）
12.食品・日用品以外の買物	食品・日用品以外の買物	家具、衣類、電気製品、贈り物などの買物（業務での買物は含まない）
13.食事	食事	レストラン、料理店、ドライブインなどでの食事
14.社交	社交	私的なお付き合いやパーティ、婦人会、PTAの会合、宗教活動、冠婚葬祭、病氣見舞など
15.娯楽	娯楽	ボウリング、パチンコ、マージャン、スポーツ観戦など
16.文化	文化	音楽、美術、映画の鑑賞など
17.通院・リハビリ	通院・リハビリ	病院や通所リハビリ施設等での診察、治療、検査、リハビリ、デイクア、薬局で薬をもらうなど（付き添い、見舞いは含まない）
18.デイサービス	デイサービス	通所介護施設での介護サービス
19.送り迎え	送り迎え	送迎（業務での送迎は含まない）
20.散歩・ジョギング	散歩・ジョギング	散歩、ジョギング、ウォーキングなど
21.サイクリング	サイクリング	
22.遊び・スポーツ・通い	遊び・スポーツ・通い	料理・茶道・語学などのおけいこ、スポーツジム通い、塾など
23.地域活動・ボランティア	地域活動・ボランティア	地域活動、ボランティアなど
24.その他日常的な活動	その他日常的な活動	上記以外の、日常的な活動
31.観光	観光	名所・旧跡、海・山・川などでの観光
32.祭り・イベント等	祭り・イベント等	祭りの観覧、催し物への参加など
33.宿泊・保養	宿泊・保養	温泉、家族・知人との交流などの保養（業務での出張等による宿泊は含まない）
34.ハイキング・スポーツ競技	ハイキング・スポーツ競技	ハイキング・野球・運動会などの運動
35.体験型レジャー	体験型レジャー	近道園・ドライブ・釣り・写真撮影・貸農園などの農業・キャンプ・バーベキューなど
36.その他非日常的な活動	その他非日常的な活動	上記以外の、非日常的な活動
41.打合せ・会議・集金・診診	打合せ・会議・集金・診診	勤務先以外での打合せ・会議、書類の持参・受領、集金・支払いなど
42.販売・配達・仕入れ・購入	販売・配達・仕入れ・購入	勤務先以外でのセールス、配達、出前、納品、仕入れなど
43.作業・修理	作業・修理	工事、自動車・機械類の修理など
44.農林漁業作業	農林漁業作業	農耕・漁労・植林・造園などの作業
45.その他	その他	上記以外の業務
C 移動手段の種類		
種類	移動手段の種類	具体的な内容
10.徒歩（シニアカー含む）	徒歩（シニアカーを含む）	徒歩（ジョギングなどを除く）但し、乗り換えの徒歩は含まない
21.車いす	車いす	手動車いす、電動車いす（シニアカーを除く）
31.自転車	自転車	個人や法人が所有する自転車、電動アシスト付自転車（原動機付自転車を除く）
32.レンタサイクル・コミュニティサイクル	レンタサイクル・コミュニティサイクル	利用登録を行って貸借する自転車、電動アシスト自転車（原動機付自転車を除く）
41.原動機付自転車（50cc以下）	原動機付自転車（50cc以下）	オートバイ・バイク（50ccをこえるもの）
51.自動二輪車（50cc超）	自動二輪車（50cc超）	軽乗用車（ナンバープレート黄地、頭番号5）
61.軽乗用車	軽乗用車	軽貨物車（ナンバープレート黄地、頭番号4）
62.軽貨物車	軽貨物車	乗用車（頭番号3、5、7）
63.乗用車	乗用車	普通貨物自動車（頭番号1）、小型貨物自動車（頭番号4）
64.貨物自動車	貨物自動車	有償で貸借する自動車（リースカーを除く）
65.レンタカー、カーシェア	レンタカー、カーシェア	J R・公営・民営の路線バス（高速バス含む）
71.路線バス	路線バス	交通空白地域や不便地域の解消を図るために運行される公営バス
72.コミュニティバス	コミュニティバス	バスラピッドトラジック（バス高速輸送）バス専用レーンやバス専用道路を走る連絡バスなどの大型バスによる都市交通
73.BRT	BRT	マイクログラス、大型バス、貸し切りバス、会社・ホテル等の送迎バスなど
74.自家用バス・貸切バス	自家用バス・貸切バス	J R、私鉄、地下鉄、新交通、モノレール、路面電車
81.鉄道、地下鉄・新交通・モノレール	鉄道、地下鉄・新交通・モノレール	新幹線
82.新幹線	新幹線	タクシー・ハイヤー、乗合タクシー
91.タクシー・ハイヤー	タクシー・ハイヤー	高齢者、車いす使用者、ベビーカー利用者、妊婦などでも利用しやすい車両であることが認定されたタクシー（認定車にはUDタクシーマークが表示）
92.ユニバーサルデザインタクシー	ユニバーサルデザインタクシー	利用者の需要に応じて停留所で乗降する予約制の乗合タクシー
93.デマンドタクシー	デマンドタクシー	介護タクシー、福祉タクシー、福祉有償運送
94.介護タクシー、福祉タクシー、福祉有償運送	介護タクシー、福祉タクシー、福祉有償運送	飛行機、ヘリコプターなど
95.航空機	航空機	フェリー、貨物船、漁船、モーターボート等
96.フェリー・船舶	フェリー・船舶	消防車、パトカー、救急車、排干機、ケーブルカーなど
97.その他	その他	
D 駐輪場所（バイク含む）		
種類	駐輪場所	具体的な内容
1.道路上・歩道上の駐輪場所	道路上・歩道上の駐輪場所	
2.月極の駐輪場（道路外）	月極の駐輪場（道路外）	
3.時間貸しの駐輪場（道路外）	時間貸しの駐輪場（道路外）	
4.目的地的施設の駐輪場（自宅を含む）	目的地的施設の駐輪場（自宅を含む）	
5.駐輪場は使わなかった	駐輪場は使わなかった	
E 駐車場		
種類	駐車場	具体的な内容
1.パーキングメーター・パーキングチケット	パーキングメーター・パーキングチケット	
2.月極の駐車場（道路外）	月極の駐車場（道路外）	
3.時間貸しの駐車場（道路外）	時間貸しの駐車場（道路外）	
4.目的地的施設の駐車場（自宅を含む）	目的地的施設の駐車場（自宅を含む）	
5.駅前広場内の駐車場	駅前広場内の駐車場	
6.駐車場は使わなかった	駐車場は使わなかった	
個人票の該当する設問への回答にあたっての留意点		
● 自営業や個人事務所などで、自宅と勤務先が同じ方 自宅兼事務所などで活動をした場合に、1「た場所」は、自営業や個人事務所などで、自宅と勤務先が同じ場合は、自宅として利用した時間が長ければ「1 自宅」とし、勤務先として活動した時間が長ければ「2 勤務・通学先」としてください。		
● 自営で農林漁業などを専業で営んでいる方 田・畑に農林漁業などの作業に行かれた場合の種類の「3 その他」としてください。		
● 「学生・生徒」の方がアルバイトなどに行かれた場合 場所は「2 勤務・通学先」ではなく「3 その他」とし、活動の種類はアルバイトの内容に応じて「仕事・業務」の中からお選びください。		
● 勤務先に仕事以外の活動で、また通学先に勉強・クラブ活動以外の活動で行かれた場合 場所は「3 その他」として、住所欄には「勤務先」ないしは「通学先」と記入していただき、そこでの活動の種類をお選びください。		
● 回答にあたっては「調査票 記入の手引き」をご覧ください。その他ご不明な点がございましたらサポートセンターにご連絡下さい。		

調査票（個人票）

個人票（平日）

近畿圏パーソントリップ調査
個人票 **平日**

あなたの平日調査日は 令和3年 月 日（曜日）
 「調査のご説明」に記載してある調査日を記入してください

■記入についてお願い
 ・世帯票を回答した後に、黒の筆記用具で記入してください。 ・回答は、 の部分（回答欄）に記入し、回答欄が などの選択式の場合は
 ・A B C の詳細は世帯票のうら面を参照してください。 ①（丸をつける）のように記入してください。

政府統計

ステップ① はじめにお答えください。

世帯票の「就業形態」で1～7を選んだ方のみ回答してください。
 調査日に在宅勤務（テレワーク）をしましたか？
 または、通学している学校のオンライン授業を受講しましたか？
 上の質問で「1 はい」と回答した方のみお答えください。
 それは新型コロナウイルスの影響によるものですか？

世帯票であなたは何人目に記入しましたか？ 人目
 調査日に家から外出しましたか？ 1 はい 2 いいえ

外出した方はステップ②へ、外出しなかった方はうら面へ

ステップ② あなたがいた場所すべて（自宅、職場等）を一つ一つ順番に記入してください。
 ①（送り迎え、取捨）をした場合はその場所も記入
 ※1 正確な住所がわからない場合は施設名称または付近の有名な建物・自働車を記入してください
 ※2 0円の場合は0を記入。交通費、業務上の支払いを除く

出発地
 その場所とは？
 1 自宅 2 勤務・通学先 3 その他（以下も記入してください）
 場所の種類 A から選択
 住所 都府県 市町村 丁目 番地 号
 施設名称^{※1}
 そこで何をしていたか？ B から選択
 目的地での消費額 あなたの支払い総額^{※2} 円

1番目の目的地
 その場所とは？
 1 自宅 2 勤務・通学先 3 その他（以下も記入してください）
 場所の種類 A から選択
 住所 都府県 市町村 丁目 番地 号
 施設名称^{※1}
 そこで何をしていたか？ B から選択
 目的地での消費額 あなたの支払い総額^{※2} 円

2番目の目的地
 その場所とは？
 1 自宅 2 勤務・通学先 3 その他（以下も記入してください）
 場所の種類 A から選択
 住所 都府県 市町村 丁目 番地 号
 施設名称^{※1}
 そこで何をしていたか？ B から選択
 目的地での消費額 あなたの支払い総額^{※2} 円

3番目の目的地
 その場所とは？
 1 自宅 2 勤務・通学先 3 その他（以下も記入してください）
 場所の種類 A から選択
 住所 都府県 市町村 丁目 番地 号
 施設名称^{※1}
 そこで何をしていたか？ B から選択
 目的地での消費額 あなたの支払い総額^{※2} 円

4番目の目的地
 その場所とは？
 1 自宅 2 勤務・通学先 3 その他（以下も記入してください）
 場所の種類 A から選択
 住所 都府県 市町村 丁目 番地 号
 施設名称^{※1}
 そこで何をしていたか？ B から選択
 目的地での消費額 あなたの支払い総額^{※2} 円

5番目の目的地
 その場所とは？
 1 自宅 2 勤務・通学先 3 その他（以下も記入してください）
 場所の種類 A から選択
 住所 都府県 市町村 丁目 番地 号
 施設名称^{※1}
 そこで何をしていたか？ B から選択
 目的地での消費額 あなたの支払い総額^{※2} 円

6番目の目的地
 その場所とは？
 1 自宅 2 勤務・通学先 3 その他（以下も記入してください）
 場所の種類 A から選択
 住所 都府県 市町村 丁目 番地 号
 施設名称^{※1}
 そこで何をしていたか？ B から選択
 目的地での消費額 あなたの支払い総額^{※2} 円

ステップ③ 左で答えた場所と場所の間の「移動」についてお答えください。

移動時刻 移動手段 駐輪・駐車場 乗り換えた駅など 乗車した車、運転者について

移動時刻 出発 到着 移動時刻 出発 到着 移動時刻 出発 到着 移動時刻 出発 到着

乗車した車は？
 1 家の車 2 勤務先の車 3 その他
 運転者は？
 1 自分 2 家族の方 3 その他
 同乗者は？
 （あなたも含めて） 人

A 建物・場所の種類
 1. 住宅・寮 2. 学校・教育施設、幼稚園・保育施設 3. 文化施設 4. 宗教施設 5. 医療・厚生・福祉施設 6. 事務所・会社・銀行 7. 官公庁 8. 間屋・卸売市場 9. 小規模小売店 10. 大規模小売店 11. 物産直売所 12. 飲食店 13. 宿泊施設 14. 娯楽・レクリエーション施設 15. 工場・作業所 16. 交通・輸送施設 17. 供給・処理施設 18. 倉庫 19. 公園・緑地 20. 海・山・川などの自然 21. 商店街など「まち」 22. 体育・スポーツ施設 23. 農林漁業作業地・施設 24. 工事現場、その他

B 活動の種類
 11. 食品・日用品の買い物 12. 食品・日用品以外の買い物 13. 食事 14. 社交 15. 娯楽 16. 文化 17. 通院・リハビリ 18. デイサービス 19. 送り迎え 20. 散歩・ジョギング 21. サイクリング 22. 買い物・スポーツジム通い 23. 地域活動・ボランティア 24. その他日常的な活動 25. 観光 26. 祭り・イベント等 27. 宿泊・保養 28. ハイキング・スポーツ競技 29. 体験型レジャー 30. その他非日常的な活動 31. 打合せ・会議・集金・往診 32. 販売・配達・仕入れ・購入 33. 作業・修理 34. 農林漁業作業 35. その他

C 移動手段の種類
 10. 徒歩（シニアカー含む） 21. 車いす 31. 自転車 32. レンタサイクル・コミュニティサイクル 41. 原動機付自転車（50cc以下） 51. 自動二輪車（50cc超） 61. 軽乗用車 62. 軽貨物車 63. 乗用車 64. 貨物自動車 65. レンタカー・カーシェア 71. 路線バス 72. コミュニティバス 73. BRT 74. 自家用バス・貸切バス 81. 鉄道・地下鉄・新交通・モノレール 82. 新幹線 91. タクシー・ハイヤー 92. ユニバーサルデザインタクシー 93. デマンドタクシー 94. 介護タクシー、福祉有償運送 95. 新空機 96. フェリー・船舶 97. その他

D 駐輪場所（バイクも含む）
 1. 道路上・歩道上の駐輪場所 2. 月極の駐輪場（道路外） 3. 時間貸しの駐輪場（道路外） 4. 目的地の施設の駐輪場（自宅を含む） 5. 駐輪場は使わなかった

E 駐車場
 1. パーキングメーター・パーキングチケット 2. 月極の駐車場（道路外） 3. 時間貸しの駐車場（道路外） 4. 目的地の施設の駐車場（自宅を含む） 5. 駅前広場内の駐車場 6. 駐車場は使わなかった

ステップ④ バス・電車の乗車券で敬老バス・福祉乗車証（無料・割引含む）を利用しましたか。 1 利用 2 非利用

7番目以降があれば、サポートセンターにご連絡ください。 ひきつづき、うら面「休日」調査票にも記入をお願いします。

個人票（休日）

近畿圏パーソントリップ調査
個人票 **休日**

あなたの休日調査日は 令和3年 月 日（日曜日）
 「調査のご説明」に記載してある調査日を記入してください

■記入についてお願い
 ・世帯票を回答した後に、黒の筆記用具で記入してください。 ・回答は、 の部分（回答欄）に記入し、回答欄が などの選択式の場合は
 ・A B C の詳細は世帯票のうら面を参照してください。 ①（丸をつける）のように記入してください。

政府統計

ステップ① はじめにお答えください。

調査日に家から外出しましたか？ 1 はい 2 いいえ
 調査日の主たる活動は、どの程度の頻度で行っていますか？
 1 ほぼ毎週 2 月に数回程度 3 年に数回程度
 4 数年に1回程度 5 はじめて

世帯票の「就業形態」で1～7を選んだ方のみ回答してください。
 調査日に在宅勤務（テレワーク）をしましたか？
 または、通学している学校のオンライン授業を受講しましたか？
 上の質問で「1 はい」と回答した方のみお答えください。
 それは新型コロナウイルスの影響によるものですか？

世帯票とは、勤務先の所在地が自宅以外である人が、自宅で業務を行うこと。

外出した方はステップ②へ、外出しなかった方は調査終了です

ステップ② あなたがいた場所すべて（自宅、職場等）を一つ一つ順番に記入してください。
 ①（送り迎え、取捨）をした場合はその場所も記入
 ※1 正確な住所がわからない場合は施設名称または付近の有名な建物・自働車を記入してください
 ※2 0円の場合は0を記入。交通費、業務上の支払いを除く

出発地
 その場所とは？
 1 自宅 2 勤務・通学先 3 その他（以下も記入してください）
 場所の種類 A から選択
 住所 都府県 市町村 丁目 番地 号
 施設名称^{※1}
 そこで何をしていたか？ B から選択
 目的地での消費額 あなたの支払い総額^{※2} 円

1番目の目的地
 その場所とは？
 1 自宅 2 勤務・通学先 3 その他（以下も記入してください）
 場所の種類 A から選択
 住所 都府県 市町村 丁目 番地 号
 施設名称^{※1}
 そこで何をしていたか？ B から選択
 目的地での消費額 あなたの支払い総額^{※2} 円

2番目の目的地
 その場所とは？
 1 自宅 2 勤務・通学先 3 その他（以下も記入してください）
 場所の種類 A から選択
 住所 都府県 市町村 丁目 番地 号
 施設名称^{※1}
 そこで何をしていたか？ B から選択
 目的地での消費額 あなたの支払い総額^{※2} 円

3番目の目的地
 その場所とは？
 1 自宅 2 勤務・通学先 3 その他（以下も記入してください）
 場所の種類 A から選択
 住所 都府県 市町村 丁目 番地 号
 施設名称^{※1}
 そこで何をしていたか？ B から選択
 目的地での消費額 あなたの支払い総額^{※2} 円

4番目の目的地
 その場所とは？
 1 自宅 2 勤務・通学先 3 その他（以下も記入してください）
 場所の種類 A から選択
 住所 都府県 市町村 丁目 番地 号
 施設名称^{※1}
 そこで何をしていたか？ B から選択
 目的地での消費額 あなたの支払い総額^{※2} 円

5番目の目的地
 その場所とは？
 1 自宅 2 勤務・通学先 3 その他（以下も記入してください）
 場所の種類 A から選択
 住所 都府県 市町村 丁目 番地 号
 施設名称^{※1}
 そこで何をしていたか？ B から選択
 目的地での消費額 あなたの支払い総額^{※2} 円

6番目の目的地
 その場所とは？
 1 自宅 2 勤務・通学先 3 その他（以下も記入してください）
 場所の種類 A から選択
 住所 都府県 市町村 丁目 番地 号
 施設名称^{※1}
 そこで何をしていたか？ B から選択
 目的地での消費額 あなたの支払い総額^{※2} 円

ステップ③ 左で答えた場所と場所の間の「移動」についてお答えください。

移動時刻 移動手段 駐輪・駐車場 乗り換えた駅など 乗車した車、運転者について

移動時刻 出発 到着 移動時刻 出発 到着 移動時刻 出発 到着 移動時刻 出発 到着

乗車した車は？
 1 家の車 2 勤務先の車 3 その他
 運転者は？
 1 自分 2 家族の方 3 その他
 同乗者は？
 （あなたも含めて） 人

A 建物・場所の種類
 1. 住宅・寮 2. 学校・教育施設、幼稚園・保育施設 3. 文化施設 4. 宗教施設 5. 医療・厚生・福祉施設 6. 事務所・会社・銀行 7. 官公庁 8. 間屋・卸売市場 9. 小規模小売店 10. 大規模小売店 11. 物産直売所 12. 飲食店 13. 宿泊施設 14. 娯楽・レクリエーション施設 15. 工場・作業所 16. 交通・輸送施設 17. 供給・処理施設 18. 倉庫 19. 公園・緑地 20. 海・山・川などの自然 21. 商店街など「まち」 22. 体育・スポーツ施設 23. 農林漁業作業地・施設 24. 工事現場、その他

B 活動の種類
 11. 食品・日用品の買い物 12. 食品・日用品以外の買い物 13. 食事 14. 社交 15. 娯楽 16. 文化 17. 通院・リハビリ 18. デイサービス 19. 送り迎え 20. 散歩・ジョギング 21. サイクリング 22. 買い物・スポーツジム通い 23. 地域活動・ボランティア 24. その他日常的な活動 25. 観光 26. 祭り・イベント等 27. 宿泊・保養 28. ハイキング・スポーツ競技 29. 体験型レジャー 30. その他非日常的な活動 31. 打合せ・会議・集金・往診 32. 販売・配達・仕入れ・購入 33. 作業・修理 34. 農林漁業作業 35. その他

C 移動手段の種類
 10. 徒歩（シニアカー含む） 21. 車いす 31. 自転車 32. レンタサイクル・コミュニティサイクル 41. 原動機付自転車（50cc以下） 51. 自動二輪車（50cc超） 61. 軽乗用車 62. 軽貨物車 63. 乗用車 64. 貨物自動車 65. レンタカー・カーシェア 71. 路線バス 72. コミュニティバス 73. BRT 74. 自家用バス・貸切バス 81. 鉄道・地下鉄・新交通・モノレール 82. 新幹線 91. タクシー・ハイヤー 92. ユニバーサルデザインタクシー 93. デマンドタクシー 94. 介護タクシー、福祉有償運送 95. 新空機 96. フェリー・船舶 97. その他

D 駐輪場所（バイクも含む）
 1. 道路上・歩道上の駐輪場所 2. 月極の駐輪場（道路外） 3. 時間貸しの駐輪場（道路外） 4. 目的地の施設の駐輪場（自宅を含む） 5. 駐輪場は使わなかった

E 駐車場
 1. パーキングメーター・パーキングチケット 2. 月極の駐車場（道路外） 3. 時間貸しの駐車場（道路外） 4. 目的地の施設の駐車場（自宅を含む） 5. 駅前広場内の駐車場 6. 駐車場は使わなかった

ステップ④ バス・電車の乗車券で敬老バス・福祉乗車証（無料・割引含む）を利用しましたか。 1 利用 2 非利用

7番目以降があれば、サポートセンターにご連絡ください。